

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
松梅雪花三吉野 〔明治14・1新富座〕〔三段目・川連館〕	劇評	六二総連		『俳優評判記』	第十一編	明治14年4月 海寿堂
松梅雪花三吉野 〔明治14・1新富座〕〔三段目・川連館〕	劇評	六二総連		『六二連 俳優評判記 中』		平成16年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・9
春木座芸評 〔明治15・9春木座〕〔四段目〕	劇評	六二総連		『俳優評判記』	第十七編	明治15年10月 海寿堂
春木座芸評 〔明治15・9春木座〕〔四段目〕	劇評	六二総連		『六二連 俳優評判記 中』		平成16年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・9
千歳座芸評 〔明治18・7千歳座〕〔三段目・四段目〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		歌舞伎新報	第五百七十二号・第 五百七十三号	明治18年8月 歌舞伎新報社
千歳座芸評 〔明治18・7千歳座〕〔三段目・四段目〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
市村座略評 〔明治21・3市村座〕〔道行・川連館〕	劇評	六二連 高須高燕 鈴木松葉		歌舞伎新報	第八百八十三号・第 八百八十四号	明治21年4月 歌舞伎新報社
市村座略評 〔明治21・3市村座〕〔道行・川連館〕	劇評	六二連 高須高燕 鈴木松葉		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
市村座略評 〔明治21・11市村座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		歌舞伎新報	第九百六十号～第九 百六十四号	明治21年12月 歌舞伎新報社
市村座略評 〔明治21・11市村座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	六二連 梅素薫 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
寿座芸評 〔明治22・4寿座〕	劇評	六二連 高須高燕 梅素薫		歌舞伎新報	第七号・第八号	明治22年5月 歌舞伎新報社
寿座芸評 〔明治22・4寿座〕	劇評	六二連 高須高燕 梅素薫		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
寿座略評 〔明治24・6寿座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	六二連 田邑安山 高須高燕		歌舞伎新報	第一千二百五十九号	明治24年7月 歌舞伎新報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
寿座略評 〔明治24・6寿座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	六二連 田邑安山 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
歌舞伎座略評 〔明治24・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	六二連 平山鶴丸 高須高燕		歌舞伎新報	第千二百七十六号	明治24年8月 歌舞伎新報社
歌舞伎座略評 〔明治24・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	六二連 平山鶴丸 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
明治座劇評 〔明治27・3明治座〕〔堀川御所〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
大阪の菊五郎芝居 〔明治28・6大阪浪花座〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
明治座千本桜のすし屋の場にて市蔵丈の梶原の 思入について 〔明治29・1明治座〕	劇評	六二連 高須高燕		歌舞伎新報	第千六百三十一号	明治29年2月 玄鹿館
明治座千本桜のすし屋の場にて市蔵丈の梶原の 思入について 〔明治29・1明治座〕	劇評	六二連 高須高燕		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
高須翁の市蔵丈の梶原に就て	劇評	かない安善		歌舞伎新報	第千六百三十二号	明治29年2月 玄鹿館
高須翁の市蔵丈の梶原に就て	劇評	かない安善		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 法月敏彦／校訂 ※歌舞伎資料選書・10
明治座の千本桜 〔明治29・1明治座〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
市村座劇評 〔明治29・4市村座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
浅草座の子供芝居 〔明治30・8浅草座〕〔木の実・すし屋・川連 館〕	劇評	饗庭篁村		『竹の屋劇評集』		昭和2年10月 東京堂
いがみの権太	芸談	伊坂梅雪／編	《5》尾上菊五郎／述	『尾上菊五郎自伝』		明治36年3月 時事新報社
いがみの権太	芸談	伊坂梅雪／編	《5》尾上菊五郎／述	『五代目菊五郎自伝』		昭和4年2月 先進社 平成9年12月 日本図書センター
義経千本桜〔権太・狐忠信〕	芸談	山岸荷葉／編	《5》尾上菊五郎／述	『五世尾上菊五郎』		明治36年3月 文学堂 『歌舞伎俳優列伝集 近世文芸研究叢 書 第2期（芸能編）11』（平成9年4 月、クレス出版）に復刻収録。

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
菊左の初役 〔明治33・4歌舞伎座〕	雑報			歌舞伎（第一次）	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
新旧両派の戦争芝居 〔明治37・2宮戸座〕	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第48号	明治37年4月 歌舞伎発行所
演技座の知盛 〔明治34・1演技座〕	雑報			歌舞伎（第一次）	第8号	明治34年1月 歌舞伎発行所
明治座の知盛と対面 〔明治35・1明治座〕	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第21号	明治35年2月 歌舞伎発行所
市村座脚本評 〔明治38・12市村座〕〔大物浦・道行・川連館〕	劇評	小山内撫子 吉田白甲 川尻清潭 三木竹二		歌舞伎（第一次）	第69号	明治39年1月 歌舞伎発行所
市村座芸評 〔明治38・12市村座〕〔大物浦・道行・川連館〕	劇評	真如		歌舞伎（第一次）	第69号	明治39年1月 歌舞伎発行所
蘆の一葉（続） 〔明治34・12大阪角座〕	劇評	関根黙庵		歌舞伎（第一次）	第22号	明治35年3月 歌舞伎発行所
中村又五郎幕間話	芸談	との字	《1》中村又五郎	歌舞伎（第一次）	第71号	明治39年3月 歌舞伎発行所
市川団蔵技芸談〔すし屋〕	芸談	清潭生	《7》市川団蔵	歌舞伎（第一次）	第93号	明治41年1月 歌舞伎発行所
義経千本桜 渡海屋 〔明治41・5歌舞伎座〕	見た まま	小梨生	銀平・知盛（《7》市 川団蔵）	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
早見藤太	芸談	倒扇居士	《6》尾上菊五郎	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
相模五郎	芸談	倒扇居士	《1》市川猿之助	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
静御前	芸談	倒扇居士	《6》尾上梅幸	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
九郎判官義経	芸談	倒扇居士	《8》市川高麗蔵	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
武蔵坊弁慶	芸談	倒扇居士	《7》市川八百蔵	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
知盛と源蔵	芸談	倒扇居士	《7》市川団蔵	演芸画報	明治41・7	演芸画報社
歌舞伎座合評 〔明治41・5歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・道 行・川連館〕	劇評	青々園 幸堂 清潭 真如		歌舞伎（第一次）	第96号	明治41年7月 歌舞伎発行所
床山の今昔（続）〔権太〕	解説	兼子伴雨		歌舞伎（第一次）	第96号	明治41年7月 歌舞伎発行所
いがみの権太 〔明治41・6横浜喜楽座〕	見た まま	小愚堂鶴声	権太（《7》市川団 蔵）	演芸画報	明治41・8	演芸画報社
団蔵の権太 〔明治41・6横浜喜楽座〕	型 劇評	柿紅生	《7》市川団蔵	歌舞伎（第一次）	第97号	明治41年8月 歌舞伎発行所
京の芝居 〔明治41・8京都明治座〕〔道行〕	劇評	宮島春斎		歌舞伎（第一次）	第98号	明治41年9月 歌舞伎発行所
史劇は困難なり	評論	竹越与三郎		歌舞伎（第一次）	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
いがみの権太	芸談		《4》沢村源之助	歌舞伎（第一次）	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
宮戸座の昼夜 〔明治42・2宮戸座〕	劇評	春浦		歌舞伎（第一次）	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
「権太」年表	研究	松本観阿		歌舞伎（第一次）	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
源之助の権太 〔明治42・2宮戸座〕	見た まま	飯田幽亭	権太（《4》沢村源之助）	演芸画報	明治43・3	演芸画報社
芝居の衣裳	解説	伊坂梅雪		歌舞伎（第一次）	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
璃珪の「鮎屋」	型	森ほのほ	《4》嵐璃珪	歌舞伎（第一次）	第105号	明治42年4月 歌舞伎発行所
「権太」の型 〔明治42・3京都明治座〕	見た まま	青木桜溪	《1》実川延二郎	演芸画報	明治42・5	演芸画報社
団蔵時代〔権太〕	評伝	関根黙庵	《7》市川団蔵	歌舞伎（第一次）	第108号	明治42年7月 歌舞伎発行所
御園座の「千本桜」 〔明治42・6名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	野郎生		歌舞伎（第一次）	第109号	明治42年8月 歌舞伎発行所
いがみの権太	芸談		《1》実川延二郎	歌舞伎（第一次）	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
尾上菊五郎「狐忠信」	写真 型		《6》尾上菊五郎	演芸画報	明治43・4	演芸画報社
権太と大名	芸談		《6》尾上菊五郎	歌舞伎（第一次）	第117号	明治43年4月 歌舞伎発行所
市川門之助自伝〔渡海屋〕	自伝	伊東雅朗／記	《6》市川門之助	歌舞伎（第一次）	第121号	明治43年7月 歌舞伎発行所
市川斎入の狐忠信宙のり	写真		《1》市川斎入	演芸画報	明治43・11	演芸画報社
大阪より 〔明治43・9大阪角座〕	劇評	竹亭瓦片		歌舞伎（第一次）	第125号	明治43年11月 歌舞伎発行所
宮戸座の昼夜 〔明治44・1宮戸座〕	劇評	青々園		歌舞伎（第一次）	第128号	明治44年2月 歌舞伎発行所
梅玉歌右衛門	評伝	伊原青々園	《3》中村歌右衛門	歌舞伎（第一次）	第134号	明治44年8月 歌舞伎発行所
宗之助の破戒曾我 〔明治44・7大阪浪花座〕〔すし屋〕	劇評	翠浪生		歌舞伎（第一次）	第134号	明治44年8月 歌舞伎発行所
大阪より 〔明治44・7大阪浪花座〕〔すし屋〕	劇評	竹亭瓦片		歌舞伎（第一次）	第134号	明治44年8月 歌舞伎発行所
浪花座の東西合同劇 〔明治44・7大阪浪花座〕〔すし屋〕	劇評	渡辺霞亭		演芸画報	明治44・9	演芸画報社
五代目歌右衛門の懐旧談 上	芸談	伊坂梅雪	《5》中村歌右衛門	歌舞伎（第一次）	第137号	明治44年11月 歌舞伎発行所
東京座の「狐忠信」 〔明治45・6東京座〕	劇評	柳波子		歌舞伎（第一次）	第146号	明治45年8月 歌舞伎発行所
仁左衛門と語る	芸談	青々園	《11》片岡仁左衛門	歌舞伎（第一次）	第153号	大正2年3月 歌舞伎発行所
宮戸座の千本桜 〔大正2・5宮戸座〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・木の実・すし屋〕	劇評			歌舞伎（第一次）	第157号	大正2年7月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
帝国劇場の十一月 〔大正2・11帝国劇場〕	劇評	青々園		歌舞伎（第一次）	第162号	大正2年12月 歌舞伎発行所
帝国劇評 〔大正2・11帝国劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	大井劇癡		演芸画報	大正2・12	演芸画報社
延二郎の「権太」の型	型	森ほのほ	《1》実川延二郎 《5》尾上菊五郎	歌舞伎（第一次）	第165号	大正3年3月 歌舞伎発行所
続無線電話	演出	室田武里	知盛（《1》実川延二郎）	歌舞伎（第一次）	第166号	大正3年4月 歌舞伎発行所
延二郎の権太 〔大正3・2歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	岡村柿紅		演芸画報	大正3・3	演芸画報社
劇評・木挽町の二月 〔大正3・2歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	井手蕉雨		演芸画報	大正3・3	演芸画報社
本郷座と歌舞伎座 〔大正3・2歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	鬼太郎		演芸倶楽部	大正3・3	博文館
現代名優百話 私の「鮎屋の権太」	芸談		《1》実川延二郎	演芸画報	大正3・5～6	演芸画報社
五世菊五郎追想録〔四の切〕	演出	《8》河原崎権之助	忠信（《5》尾上菊五郎）	演芸画報	大正4・2	演芸倶楽部
義経千本桜・吉野山道行の型	写真型		忠信（《6》市川寿美蔵） 静御前（《2》市川松蔭）	演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
義経と富樫	芸談		《3》市村亀蔵	演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
忠信と政次	芸談		《6》市川寿美蔵	演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
明治座の新青年一座 〔大正4・2明治座〕〔道行・川連館〕	劇評	岡村柿紅		演芸画報	大正4・3	演芸倶楽部
初秋の五座を見て 〔大正4・9市村座〕〔堀川御所・渡海屋・大物浦〕	劇評	小山内薫		演芸画報	大正4・10	演芸倶楽部
小金吾と弥助	芸談		《13》守田勘弥	演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
いがみの権太 〔大正5・8帝国劇場〕〔文珠渡・木の実・すし屋〕	見たまま	鈍太郎	権太（《6》尾上菊五郎）	演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
芝居万年筆 〔大正5・8帝国劇場〕〔文珠渡・木の実・すし屋〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
八月の帝国劇場と歌舞伎座 〔大正5・8帝国劇場〕〔木の実・すし屋〕	劇評	月郊		演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
棧敷から書齋へ 〔大正5・8帝国劇場〕〔すし屋〕	解説	伊原青々園		演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
劇談会	演出		権太（《6》尾上菊五郎） 権太（《5》尾上菊五郎）	演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
団菊左の権太 〔明治14・1新富座〕	劇評	岡村柿紅		新演芸	大正5・9	玄文社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
小せんとお里と千代	芸談		《3》尾上菊次郎	演芸画報	大正5・9	演芸倶楽部
帝国劇場八月興行 〔大正5・8帝国劇場〕〔文珠渡・木の実・すし屋〕	劇評	鬼太郎		新演芸	大正5・9	玄文社
善いも悪いも所謂珍型〔吉野山・渡海屋・大物浦・木の実〕	型	杉賈阿弥		演芸画報	大正5・11	演芸倶楽部
芝居と史実 義経と弁慶	解説	大町桂月		演芸画報	大正6・5	演芸倶楽部
浪花座の少年歌舞伎 〔大正6・7大阪浪花座〕	劇評	川辺旬作		演芸画報	大正6・8	演芸倶楽部
楽屋訪問記 船矢倉の知盛	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	大正7・3	演芸倶楽部
お芝居談話〔渡海屋〕	懐旧談	松田竹の島人		演芸画報	大正7・3	演芸倶楽部
歌舞伎座の千本桜 〔大正7・2歌舞伎座〕〔堀川御所・渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	岡村柿紅		新演芸	大正7・3	玄文社
斎入追善劇と浪花座 〔大正7・3大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	中山白峯		演芸画報	大正7・4	演芸倶楽部
三月の南座略評 〔大正7・3京都南座〕〔堀川御所・渡海屋・大物浦〕	劇評	華水生		演芸画報	大正7・4	演芸倶楽部
中座と浪花座 〔大正7・3大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	美野一白		新演芸	大正7・4	玄文社
千本桜と三代記 〔大正7・7吾妻座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	沢井弥五郎		演芸画報	大正7・9	演芸倶楽部
いがみの権太 戯曲中の人物研究	評論	岡本綺堂		演芸画報	大正8・2	演芸倶楽部
鮎屋雑感 〔大正8・1歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	本山荻舟		演芸画報	大正8・2	演芸倶楽部
三つの疑ひ 〔大正8・1歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	山崎紫紅		演芸画報	大正8・2	演芸倶楽部
権太の才覚	評論	灰野庄平		演芸画報	大正8・2	演芸倶楽部
初春の木挽町 〔大正8・1歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	鬼太郎		新演芸	大正8・2	玄文社
権太延若 〔大正8・8京都南座〕	劇評	斎藤紫軒		演芸画報	大正8・9	演芸倶楽部
義経千本桜 歌舞伎劇の「型」拾八種 その13	写真型		《6》尾上菊五郎	演芸画報	大正9・1	演芸倶楽部
歌舞伎劇型十八種〔狐忠信〕	型	川尻清潭		演芸画報	大正9・1	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 千本桜と当代俳優	解説	川尻清潭		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 「狐忠信」の珍型	解説	関根黙庵		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 適任と不適任と	解説	岡本綺堂		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 千本桜の役々より見たる大阪俳優	解説	銀兵衛		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 椎の木から道行まで	解説	月郊		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 「権太」に就いて	解説	三宅周太郎		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
五世菊五郎の「権太」と「忠信」の話	芸談		《5》尾上菊五郎	演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 「木の実」から「御殿」	解説	遠藤為春		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
義経千本桜の役々より見たる当代俳優 知盛と典侍の局	解説	灰野庄平		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
鴈治郎の権太 [大正9・10大阪中座] [すし屋]	劇評	霞亭		演芸画報	大正9・11	演芸倶楽部
鴈治郎の権太物語	芸談	小夜格子	《1》中村鴈治郎	新演芸	大正9・11	玄文社
「鮎屋」に就いて 羽左衛門の権太 [大正12・3本郷座]	劇評	三宅周太郎		『演劇評話』		昭和3年3月 新潮社
「鮎屋」八面観 「鮎屋」に就いて	評論	三宅周太郎		演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
「鮎屋」八面観 「義経千本桜」鮎屋の味	解説	奈河正阿弥		演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
各役芸談 五世菊五郎の権太談	芸談		《6》尾上菊五郎	演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
各役芸談 中車の梶原談	芸談		《7》市川中車	演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
各役芸談 梅幸の維盛談	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
「鮎屋」八面観 鮎屋の人々	解説	高安月郊		演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
「鮎屋」八面観 衣裳から見た鮎屋の今昔	演出	鳥居清忠		演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
「鮎屋」八面観 本郷座の鮎屋 [大正12・3本郷座]	劇評	徳田秋声		演芸画報	大正12・4	演芸倶楽部
御談鮎屋話 [大正12・3本郷座]	劇評	鬼太郎		新演芸	大正12・4	玄文社
三月の本郷座を見て [大正12・3本郷座] [すし屋]	劇評	千葉亀雄		新演芸	大正12・4	玄文社
義経千本桜 [大正13・5市村座] [木の実・すし屋]	見た まま	清水三重三	権太（《6》尾上菊五郎）	新演芸	大正13・6	玄文社
合評会 義経千本桜 [大正13・5市村座] [木の実・すし屋]	劇評	岡鬼太郎 松居松翁 久保田米斎 岡田八千代 久保田万太郎		新演芸	大正13・6	玄文社
歌舞伎幻像断片録 4 碇知盛の話	随筆	三島霜川		演芸画報	大正13・9	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
義経千本桜 〔大正14・4大阪弁天座〕〔北嵯峨・すし屋・道 行・川連館〕	見た まま	小松君夫	狐忠信（《2》市川右 団次）義経（市川荒太 郎）	演芸画報	大正14・5	演芸画報社
義経千本桜のこと 鮎屋御見物の栞	解説	円城寺清臣		帝劇	第三六号	平成14年10月 宇野四郎
「錨知盛」八面観 延若と渡海屋 〔大正15・9大阪中座〕	劇評	石川雄二		演芸画報	大正15・10	演芸画報社
「錨知盛」八面観 大物浦の稽古	訪問 記	彼井左為蔵		演芸画報	大正15・10	演芸画報社
「錨知盛」八面観 知盛	芸談	武蔵の六郎	《2》実川延若	演芸画報	大正15・10	演芸画報社
「錨知盛」八面観 相模の五郎	芸談	武蔵の六郎	《2》市川猿之助	演芸画報	大正15・10	演芸画報社
「錨知盛」八面観 典侍の局	芸談	武蔵の六郎	《3》中村雀右衛門	演芸画報	大正15・10	演芸画報社
「錨知盛」八面観 入江丹蔵	芸談	武蔵の六郎	《1》中村扇雀	演芸画報	大正15・10	演芸画報社
「錨知盛」八面観 義経	芸談	武蔵の六郎	《6》嵐吉三郎	演芸画報	大正15・10	演芸画報社
義経記	解説	飯塚友一郎		『歌舞伎細見』		大正15年10月 第一書房
吉右衛門の権太 〔昭和2・7本郷座〕	劇評	三宅周太郎		『演劇評話』		昭和3年3月 新潮社
芝居偏痴奇論 与太郎の鮎屋観 〔昭和2・7本郷座〕〔木の実・すし屋〕	見た まま	麦野珍太	権太（《1》中村吉右 衛門）	演芸画報	昭和2・8	演芸画報社
道行初音の旅路に就て 〔昭和3・2大阪中座〕	解説	高谷伸		道頓堀	昭和3・1	道頓堀編集部
一月の本郷座 〔昭和3・1本郷座〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	高安月郊		演芸画報	昭和3・2	演芸画報社
五代目と大道具〔四の切〕	演出	《14》長谷川勘兵衛		演芸画報	昭和3・2	演芸画報社
菊五郎の吉野山道行 〔昭和3・2新橋演舞場〕	劇評	小寺融吉		演芸画報	昭和3・3	演芸画報社
女流諸家の好きな舞踏劇 「吉野山」と「江島生島」	随筆	岡田八千代		演芸画報	昭和3・3	演芸画報社
いがみの権太	型	川尻清潭		道頓堀	昭和3・5	松竹合名社
権太の性根	芸談		《2》実川延若	道頓堀	昭和3・5	松竹合名社
すしや雑考	雑記	京極利行		道頓堀	昭和3・5	松竹合名社
中座の五月興行 〔昭和3・5大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和3・6	演芸画報社
観劇声明 〔昭和3・6明治座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和3・7	演芸画報社
芝居思ひ出の記〔こしらえ〕	演出	《14》長谷川勘兵衛	知盛（《4》市川小団 次）	演芸画報	昭和3・8	演芸画報社
歌舞伎の観方 「千本桜」の知盛を中心に	解説	三島霜川		演芸画報	昭和4・1	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
明治座の吉、宗一座 〔昭和4・3明治座〕〔道行〕	芸談	岡鬼太郎	忠信（《7》坂東三津五郎）	『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部
野球の笑話〔権太〕	芸談		《5》尾上菊五郎	演芸画報	昭和4・12	演芸画報社
明治座霜月興行 〔昭和4・11明治座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	岡鬼太郎		演芸画報	昭和4・12	演芸画報社
明治座の千本桜 〔昭和4・11明治座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月 岡倉書房
千本と所作事 〔昭和4・11明治座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部
初開場の東京劇場 〔昭和5・4東京劇場〕〔川連館〕	劇評	三宅三郎		『歌舞伎劇鑑賞』		昭和17年7月 三田文学出版部
東京劇場の舞台開き 〔昭和5・4東京劇場〕〔川連館〕	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部
権太演出考 〔昭和5・10大阪中座〕〔すし屋〕	演出	高谷伸		道頓堀	昭和5・10	道頓堀編集部
狐、猫、狼	芸談	《6》尾上梅幸		『梅の下風』		昭和5年11月 法木書店
狐、猫、狼	芸談	《6》尾上梅幸 井口政信		『梅の下風』		昭和28年10月 演劇出版社 『女形の芸談』昭和63年11月、演劇出版社に収録。
道頓堀の古典劇 〔昭和5・10大阪中座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	石割松太郎		演芸画報	昭和5・11	演芸画報社
芝居見物講話〔木の実・すし屋〕	演出	川尻清潭		演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
木挽町二月興行 〔昭和6・2歌舞伎座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和6・3	演芸画報社
芝居見物講話〔木の実・すし屋〕〔訂正記事〕	演出	川尻清潭		演芸画報	昭和6・3	演芸画報社
菊五郎の小金吾と維盛 〔昭和6・2歌舞伎座〕〔木の実・すし屋〕	劇評	三宅三郎		『続歌舞伎劇鑑賞』		昭和18年4月 三田文学出版部
六月の中座を観る 〔昭和6・6・大阪中座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	高安吸江		演芸画報	昭和6・7	演芸画報社
芝居の味 現代に生きる渡海屋	解説	高原慶三		演芸画報	昭和6・7	演芸画報社
千本桜の味 東劇の渡海屋を見て 〔昭和6・7東京劇場〕	解説	中内蝶二		演芸画報	昭和6・8	演芸画報社
無線電話 6〔渡海屋・大物浦〕	演出	花水庵（室田武里）		演芸画報	昭和6・8	演芸画報社
盆の築地河岸 〔昭和6・7東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦〕	劇評	岡鬼太郎		演芸画報	昭和6・8	演芸画報社
東京劇場の千本桜 〔昭和6・7東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦〕	劇評	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月 岡倉書房
菊五郎の渡海屋 〔昭和6・7東京劇場〕	劇評	三宅三郎		『続歌舞伎劇鑑賞』		昭和18年4月 三田文学出版部
千本桜、一本刀 〔昭和6・7東京劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	芸談	岡鬼太郎	知盛（《6》尾上菊五郎）	『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
東劇二月「歌舞伎」評論記 舞踊の味ひ方 道行初音の旅 〔昭和7・2東京劇場〕	劇評	小谷青楓		演芸画報	昭和7・3	演芸画報社
東京劇場の初音旅 〔昭和7・2東京劇場〕	劇評	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月 岡倉書房
忠信とお兼 〔昭和7・11歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	小谷青楓		演芸画報	昭和7・12	演芸画報社
宗吾と義経と忠信 二つの名品 〔昭和7・11歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎		『歌舞伎劇鑑賞』		昭和17年7月 三田文学出版部
ハガキ通信批判 〔昭和8・3明治座〕〔すし屋〕	劇評	A太郎 B子		演芸画報	昭和8・4	演芸画報社
左団次、延若 〔昭和8・3明治座〕〔すし屋〕	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎眼鏡』		昭和18年3月 新大衆社
もしほと児太郎の芝居 〔昭和8・7東京劇場〕〔すし屋〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和8・8	演芸画報社
舞台陶酔境 土蜘蛛と狐忠信	随筆	小池孝子		演芸画報	昭和9・1	演芸画報社
歌舞伎狂言と俳優との相関性〔千本桜〕	解説	三島霜川		演芸画報	昭和9・1	演芸画報社
三月歌舞伎芝居展望 舞台の「道行初音旅」	解説	衣美北叟		演芸画報	昭和9・4	演芸画報社
歌舞伎舞踊の巻 〔昭和9・4歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	小谷青楓		演芸画報	昭和9・5	演芸画報社
歌舞伎劇のクライマックス〔すし屋・道行〕	解説	久保琴舟		演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
『義経伝説と文学』	研究	島津久基		『義経伝説と文学』		昭和10年1月 明治書院 昭和52年5月、大学堂書店より再版。 『御伽草子研究叢書 第四巻』平成15 年11月、クレス出版、収録。
二月の南座の観る 〔昭和10・2京都南座〕〔堀川御所・川連館〕	劇評	安部豊		演芸画報	昭和10・3	演芸画報社
中座の鷹治郎追悼劇を覗いて 〔昭和10・3大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	江戸源太郎		演芸画報	昭和10・4	演芸画報社
関西大歌舞伎を見るの記 〔昭和10・6京都南座〕〔すし屋〕	劇評	森ほのほ		演芸画報	昭和10・7	演芸画報社
皆様参舞台音信	芸談		《6》尾上菊五郎	映画と演劇	昭和11・6	朝日新聞社
私設舞台監督の観たる五月の歌舞伎座 〔昭和11・5歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	久保田米所		演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
無線有線 5〔すし屋〕	演出	花水庵		演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
山門と大徳寺 〔昭和11・5歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	伊原青々園		『伊原青々園集』		昭和16年12月 坂上書院
京阪三座見物 〔昭和11・12大阪浪花座〕〔道行・木の実・す し屋・川連館〕	劇評	安部豊		演芸画報	昭和12・1	演芸画報社
「椎の木」の上演 扇雀の「藤十郎の恋」 〔昭和11・12大阪浪花座〕〔道行・木の実・す し屋・川連館〕	劇評	山口廣一		『大阪の芝居』		昭和17年12月 輝文館

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
吉野山	芸談	利倉幸一 《6》坂東叢助／編	《7》坂東三津五郎	『舞踊芸話』		昭和12年2月 建設社 昭和25年9月 和敬書店 昭和52年9月 演劇出版社
青年歌舞伎五周年 〔昭和12・3明治座〕〔道行〕	劇評	小谷青楓		演芸画報	昭和12・4	演芸画報社
無線電話 16〔道行・渡海屋・大物浦〕	演出	花水庵		演芸画報	昭和13・2	演芸画報社
伴内と藤太の事変づくし 市川八百蔵自作づくし	演出		《8》市川八百蔵	演芸画報	昭和13・2	演芸画報社
歌舞伎座若手芝居 〔昭和13・1歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	あべゆたか		演芸画報	昭和13・2	演芸画報社
東劇を見て 〔昭和13・1東京劇場〕〔道行〕	劇評	車谷是介 今谷久平		演芸画報	昭和13・2	演芸画報社
幸四郎の知盛 〔昭和13・1東京劇場〕〔道行・渡海屋・大物浦〕	劇評	三宅三郎		『続歌舞伎劇鑑賞』		昭和18年4月 三田文学出版部
幸四郎の「碓知盛」 〔昭和13・1東京劇場〕	劇評	本間久雄		『歌舞伎 研究と鑑賞』		昭和22年12月 天絃社
幸四郎の「碓知盛」 〔昭和13・1東京劇場〕	劇評	本間久雄		『歌舞伎』		昭和33年12月 松柏社
六月の東宝を見て 〔昭和13・6有楽座〕	劇評	堀川寛一		演芸画報	昭和13・7	演芸画報社
二月の関西劇壇 〔昭和14・2大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・すし屋・川連館〕	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和14・3	演芸画報社
千本と勸進帳 〔昭和14・2大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・すし屋・四の切〕	劇評	武智鉄二		『かりの翅』		昭和16年8月 千歳書房 昭和44年2月 学芸書林
千本と勸進帳 〔昭和14・2大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・すし屋・四の切〕	劇評	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄二全集』	第二卷	昭和54年3月 三一書房
大衆歌舞伎 〔昭和14・3国際劇場〕〔道行〕	劇評	荒川木風		演芸画報	昭和14・4	演芸画報社
京阪神三座評判 〔昭和14・6京都南座〕〔道行〕	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
京都の中村会 〔昭和14・6京都南座〕〔道行〕	劇評	武智鉄二		『かりの翅』		昭和16年8月 千歳書房 昭和44年2月 学芸書林
京都の中村会 〔昭和14・6京都南座〕〔道行〕	劇評	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄二全集』	第二卷	昭和54年3月 三一書房
踊る中村吉右衛門 梅玉の浅岡へ詰問する 〔昭和14・6京都南座〕〔道行〕	劇評	山口廣一		『大阪の芝居』		昭和17年12月 輝文館

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
古典劇の釣瓶打 〔昭和15・5歌舞伎座〕〔鳥居前・すし屋〕	劇評	伊原青々園		『伊原青々園集』		昭和16年12月 坂上書院
義経千本桜	解説	藤村作		『物語近世文学 第八巻 浄瑠璃名作集』		昭和15年12月 雄山閣
初春の東京劇場 〔昭和16・1東京劇場〕〔道行〕	劇評	柏村三千雄		演芸画報	昭和16・2	演芸画報社
春芝居から昔語りへ〔道行〕	解説	渥美清太郎		演芸画報	昭和16・2	演芸画報社
延長団菊祭 〔昭和16・4歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	三宅三郎		演芸画報	昭和16・5	演芸画報社
歌舞伎の総浚拝見〔すし屋〕	訪問記	細矢安太郎		演芸画報	昭和16・5	演芸画報社
卯月の大阪劇壇 〔昭和16・4大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和16・5	演芸画報社
昼夜交替劇 〔昭和16・4歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎眼鏡』		昭和18年3月 新大衆社
前進座の十周年記念興行 〔昭和16・6新橋演舞場〕〔道行〕	劇評	番匠谷英一		演芸画報	昭和16・7	演芸画報社
歌舞伎座の菊五郎 〔昭和16・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	岡田八千代		演芸画報	昭和17・1	演芸画報社
菊五郎の芸術 〔昭和16・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎眼鏡』		昭和18年3月 新大衆社
国民演劇参加六種 新作「恩讐吹上」 〔昭和16・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	三宅三郎		『続歌舞伎劇鑑賞』		昭和18年4月 三田文学出版部
人形と歌舞伎の権太の考察 「木の実」「鮎屋」 の検討	研究	森ほのほ		浄瑠璃雑誌	第409号	昭和17年5月 浄瑠璃雑誌社
戯曲形態論 合作時代の戯曲形態 時代物系の代表 作「義経千本桜」の形態／劇的性格論 時代物 系系の劇的性格 操浄瑠璃系時代物の劇的性格 「義経千本桜」の劇的性格	研究	中村吉蔵		『日本戯曲技巧論』		昭和17年7月 中央公論社
権太で変わった所／知盛・権太の拵え／大物の 知盛	芸談	河竹繁俊／校註	《4》市川九蔵	『七世市川団蔵』		昭和17年10月 石原求童堂
時局下稽古風景 大阪歌舞伎座にて〔渡海屋・大 物浦・道行・木の実・すし屋〕	訪問記	司見子		演芸画報	昭和17・11	演芸画報社
十二年ぶりの忠信	芸談		《2》林又一郎	演芸画報	昭和17・11	演芸画報社
「権の木」雑記 〔昭和17・10大阪大阪歌舞伎座〕	劇評	林秀雄		浄瑠璃雑誌	第414号	昭和17年11月 浄瑠璃雑誌社
延若の権太雑想 底割り演技一考察 〔昭和17・10大阪大阪歌舞伎座〕〔渡海屋・大 物浦・道行・木の実・すし屋〕	劇評	中野孝一		浄瑠璃雑誌	第415号	昭和17年12月 浄瑠璃雑誌社
羽左衛門と吉右衛門との「縮屋」	研究	三宅周太郎		『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社
歌舞伎座の三月 〔昭和18・3歌舞伎座〕	劇評	本山荻舟		演芸画報	昭和18・4	演芸画報社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
知盛の入水	芸談	川尻清潭／編	《7》市川中車	『中車芸話』		昭和18年9月 築地書店 『日本の芸談 第二巻 歌舞伎II』 (昭和54年2月、九芸出版)、『日本人の自伝 20』(昭和56年8月、平凡社)に収録。
二月六日 〔昭和19・2新橋演舞場〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	三島由紀夫		『芝居日記』		平成3年7月 中央公論社
忠信 相模五郎	芸談	《3》中村仲蔵		『手前味噌』		昭和19年3月 北光書房
忠信 相模五郎	芸談	《3》中村仲蔵／著 郡司正勝／校注		『手前味噌』		昭和44年11月 青蛙房
鼓の打ち方〔静御前〕／獣類の挙動〔狐忠信〕	芸談	川尻清潭	《6》尾上梅幸	『女形の事』		昭和19年6月 主婦之友社
十一月六日／十一月十八日 〔昭和20・11東京劇場〕〔道行〕	劇評	三島由紀夫		『芝居日記』		平成3年7月 中央公論社
五年振の菊五郎 〔昭和21・10東京劇場〕〔道行〕	劇評	林秀雄		観照	第3号	昭和21年10月 観照社
十一月八日 〔昭和21・11東京劇場〕〔川連館〕	劇評	三島由紀夫		『芝居日記』		平成3年7月 中央公論社
娘形の心得／権太の師匠は幫間／維盛をやりたい／梶原とのやりとり／権太は儲け役〔すし屋〕	芸談	山口廣一	《2》実川延若	『延若芸話』		昭和21年11月 誠光社
「船弁慶」「吉田屋」その他 〔昭和21・11東京劇場〕	劇評	掛貝芳男		幕間	昭和21・12	和敬書店
短評 〔昭和22・5京都南座〕	劇評	青塵居主人		幕間	昭和22・6	和敬書店
東京都劇場だより 〔昭和22・10有楽座〕	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・11	和敬書店
千本桜鑑賞教室	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和23・2	日本演劇社
叙事詩としての義経千本桜	鑑賞	高岡宣之		演劇界	昭和23・2	日本演劇社
義経千本桜(総説)	鑑賞	太宰施門		役者	昭和23・2	万粧書房
千本桜の発端(一段目)	鑑賞	本山荻舟		役者	昭和23・2	万粧書房
鳥居前の忠信(二段目の口)	鑑賞	金沢康隆		役者	昭和23・2	万粧書房
渡海屋と大物(二段目の中・切)	鑑賞	渥美清太郎		役者	昭和23・2	万粧書房
木の実と竹藪(三段目の口・中村)	鑑賞	戸板康二		役者	昭和23・2	万粧書房
鮎屋(三段目の切)	鑑賞	斎藤竹治		役者	昭和23・2	万粧書房
道行初音旅(四段目の口)	鑑賞	仁村美津夫		役者	昭和23・2	万粧書房
四ノ切の忠信(四段目の切)	鑑賞	川尻清潭		役者	昭和23・2	万粧書房
出ない五段目(五段目)	鑑賞	中島三郎		役者	昭和23・2	万粧書房
義経千本桜私感 〔昭和23・2東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和23・3	日本演劇社
若手の義経千本桜 〔昭和23・2東京劇場〕〔演出〕	劇評	戸板康二		幕間	昭和23・3	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
若手の義経千本桜 〔昭和23・2東京劇場〕〔顔〕	劇評	利倉幸一		幕間	昭和23・3	和敬書店
若手の義経千本桜 〔昭和23・2東京劇場〕〔台詞〕	劇評	安藤鶴夫		幕間	昭和23・3	和敬書店
若手の義経千本桜 〔昭和23・2東京劇場〕〔スタイル〕	劇評	椎名光		幕間	昭和23・3	和敬書店
若手の義経千本桜 〔昭和23・2東京劇場〕〔人気〕	劇評	大木豊		幕間	昭和23・3	和敬書店
東京都劇場だより 〔昭和23・2東京劇場〕	劇評	戸部銀作		幕間	昭和23・3	和敬書店
菊五郎駄目帳 〔昭和23・2東京劇場〕	演出 劇評	川尻清潭		日本演劇	昭和23・3	日本演劇社
「義経千本桜」対談会 源義経	芸談	川尻清潭	《5》沢村田之助	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」対談会 平知盛と梶原景時	芸談	川尻清潭	《5》市川染五郎	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」対談会 典侍局と小せんとお里	芸談	川尻清潭	《6》中村芝翫	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」対談会 相模五郎といがみの権太	芸談	川尻清潭	《9》市川海老蔵	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」対談会 静御前と維盛	芸談	斎藤竹治	《7》尾上梅幸	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」対談会 鳥居前、道行、四の切の忠信	芸談	斎藤竹治	《2》尾上松緑	役者	昭和23・3	万粧書房
狐六法の手	芸談		《2》市川猿之助	役者	昭和23・3	万粧書房
「義経千本桜」私感 〔昭和23・2東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	戸板康二		『歌舞伎の周囲』		昭和23年11月 角川書店
「千本桜」採点 〔昭和23・2東京劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物 浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	戸板康二		『今日の歌舞伎』		昭和27年11月 創元社
座談会 歌舞伎を学生に聞く 〔昭和23・3京都南座〕〔道行・川連館・奥庭〕	劇評	桂田重治 関逸雄		幕間	昭和23・4	和敬書店
鷹治郎熱演・我当好演 〔昭和23・6大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	井上甚之助		幕間	昭和23・7	和敬書店
義経千本桜〔権太〕	芸談	川尻清潭	《6》尾上菊五郎	『六世菊五郎百話』		昭和23年7月 右文社
東京劇壇巡礼 〔昭和23・10新橋演舞場〕〔椎木・すし屋・道 行〕	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和23・11	和敬書店
演舞場と三越 〔昭和23・10新橋演舞場〕	劇評	本山荻舟		演劇界	昭和23・11	日本演劇社
「鮎屋」のお里	鑑賞	高岡宣之		『歌舞伎の女性』		昭和24年1月 新府書房
千本桜研究	鑑賞	戸板康二		『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
澤瀉屋系の勸進帳 〔昭和24・3名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和24・4	和敬書店
南座の六月 〔昭和24・6京都南座〕〔すし屋〕	劇評	河崎平一郎		幕間	昭和24・7	和敬書店
「鮎屋」の話〔木の実・すし屋〕	芸談	井上甚之助	《7》坂東三津五郎	『三津五郎芸談』		昭和24年7月 和敬書店
「恋物語」二つ三つ 〔昭和24・10新橋演舞場〕〔すし屋〕	劇評	戸部銀作		幕間	昭和24・11	和敬書店
十月の演舞場 〔昭和24・10新橋演舞場〕〔すし屋〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和24・11	日本演劇社
不振を続ける新作 〔昭和24・11大阪・大阪歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	井上甚之助		幕間	昭和24・12	和敬書店
私の芸談 道行の忠信	芸談		《7》坂東三津五郎	幕間	昭和25・5	和敬書店
名品「忠信」 〔昭和25・4東京劇場〕〔道行〕	劇評	利倉幸一		幕間	昭和25・5	和敬書店
私の芸談 旅から旅へ〔権太〕	芸談		《2》中村鴈治郎	幕間	昭和25・9	和敬書店
両花道の芝居を中心に 〔昭和25・11東京劇場〕〔道行〕	劇評	戸板康二		幕間	昭和25・12	和敬書店
追善、非追善 〔昭和26・1大阪大阪歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和26・2	演劇新社
幕間随想 延若さんのこと〔お里〕	芸談		《4》中村富十郎	幕間	昭和26・2	和敬書店
初代鴈治郎追善興行 〔昭和26・1大阪大阪歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和26・2	和敬書店
「四の切」その他 〔昭和26・5明治座〕〔川連館〕	劇評	大木豊		演劇界	昭和26・6	演劇新社
幕間随想 忠信のけれん	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和26・6	和敬書店
明治座の菊五郎劇団 男女蔵と松緑の交代提示 〔昭和26・5明治座〕〔川連館〕	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和26・6	和敬書店
坂東三津五郎〔道行の忠信〕	芸談	戸板康二	《7》坂東三津五郎	『芸談』		昭和26年7月 東話社 東京新聞社文化部／編
実川延若〔すし屋〕	芸談	長谷川幸延	《2》実川延若	『芸談』		昭和26年7月 東話社 東京新聞社文化部／編
渡海屋	鑑賞			演劇界別冊 狂言百種 下之巻	昭和26・11	演劇新社
「義経千本桜」ノート	研究			『歌舞伎ノート』		昭和26年12月 創元社
通し狂言「白浪五人男」 〔昭和26・12明治座〕〔道行〕	劇評	浜村道哉		幕間	昭和27・1	和敬書店
正邪双曲線 〔昭和27・1大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和27・2	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
まずい献立 〔昭和27・2歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	渥美清太郎		演劇界	昭和27・3	演劇新社
「劇団賞」をもらった菊五郎劇団 〔昭和27・2歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	井上甚之助		幕間	昭和27・3	和敬書店
菊五郎劇団と海老蔵 〔昭和27・7名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和27・8	演劇新社
海老蔵の自信・左団次の貫禄 〔昭和27・7名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和27・8	和敬書店
菅原・千本桜・忠臣蔵	鑑賞	楠山正雄		『歌舞伎評論』		昭和27年11月 富山房
歌舞伎原平時代＝古典上演の皮肉 〔昭和28・4歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	本山荻舟		劇評	昭和28・4	歌舞伎堂第一書店
弁慶上使と石切梶原など 〔昭和28・4歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和28・5	演劇出版社
鷹治郎活躍 〔昭和28・4大阪中座〕〔道行・すし屋〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和28・5	演劇出版社
幕間随想 義太夫の「吉野山」	芸談		《2》市川猿之助	幕間	昭和28・5	和敬書店
幕間随想 上方風の権太	芸談		《2》中村鴈治郎	幕間	昭和28・5	和敬書店
歌昇・芝雀襲名披露 歌舞伎座の大一座 〔昭和28・4歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和28・5	和敬書店
道頓堀のゲテ味 〔昭和28・4大阪中座〕〔道行・すし屋〕	劇評	北岸佑吉		幕間	昭和28・5	和敬書店
義経千本桜	鑑賞	三宅三郎		『歌舞伎教室』		昭和28年7月 ポプラ社 久保田万太郎・戸板康二／編
京都の菊五郎劇団 〔昭和28・6京都南座〕〔道行・すし屋〕	劇評	桂田重治		演劇界	昭和28・7	演劇出版社
幕間随想 忠信雑話〔道行〕〔藤太〕	芸談		《7》坂東彦三郎	幕間	昭和28・7	和敬書店
菊五郎劇団の南座六月興行雑感 〔昭和28・6京都南座〕〔道行・すし屋〕	劇評	伊志多一郎		幕間	昭和28・7	和敬書店
幕間随想 忠信雑話〔道行〕〔訂正記事〕	芸談			幕間	昭和28・8	和敬書店
梅忠の安定感 〔昭和28・10大阪中座〕〔川連館〕	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和28・11	演劇出版社
受けた通俗の味 十月の「中座歌舞伎」 〔昭和28・10大阪中座〕〔川連館〕	劇評	辻田孝一		幕間	昭和28・11	和敬書店
いがみの権太	芸談	仁村美津夫	《9》市川海老蔵	『市川海老蔵』		昭和28年12月 歌舞伎堂第一書店
元禄忠臣蔵その他 〔昭和29・2明治座〕〔鳥居前〕	劇評	加賀山直三		劇評	昭和29・2	歌舞伎堂第一書店
史劇と新世話劇と 〔昭和29・2明治座〕〔鳥居前〕	劇評	草壁知止子		演劇界	昭和29・3	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
幕間随想 初めての荒事〔鳥居前の忠信〕	芸談		《4》河原崎権三郎	幕間	昭和29・3	和敬書店
勘三郎と鷹治郎 〔昭和29・3大阪大阪歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和29・4	演劇出版社
幕間随想 ただただ恐縮するばかり〔すし屋の梶原〕	芸談		《3》阪東寿三郎	幕間	昭和29・4	和敬書店
幕間随想 東西七三の権太	芸談		《3》市川寿海	幕間	昭和29・4	和敬書店
幕間随想 樽屋おせん〔すし屋の維盛〕	芸談		《2》中村鷹治郎	幕間	昭和29・4	和敬書店
「四の切」雑記	解説	加賀山直三		幕間	昭和29・4	和敬書店
団十郎苦笑す？ 〔昭和29・3大阪大阪歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和29・4	和敬書店
ほしいままなる「四の切」を問題にする 〔昭和29・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	本山荻舟		劇評	昭和29・4	歌舞伎堂第一書店
勘三郎の熱汗 〔昭和29・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	久住良三		演劇界	昭和29・5	演劇出版社
幕間随想 難役狐忠信〔四の切の忠信〕	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和29・5	和敬書店
お花見月の東京・歌舞伎座評 〔昭和29・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	印南喬		幕間	昭和29・5	和敬書店
「舞台鑑賞」川連館	鑑賞	松井敏明		劇評	昭和29・5	歌舞伎堂第一書店
血のいろの違和感 〔昭和29・5歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	戸板康二		劇評	昭和29・5	歌舞伎堂第一書店
道行初音旅	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和29・6	演劇出版社
文化財の花四天 〔昭和29・5歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和29・6	演劇出版社
幕間随想 「知盛」の古典味	芸談		《2》市川猿之助	幕間	昭和29・6	和敬書店
「源氏物語」あれこれ 〔昭和29・5歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	本山荻舟		幕間	昭和29・6	和敬書店
「舞台鑑賞」渡海屋・大物浦	鑑賞	松井敏明		劇評	昭和29・6	歌舞伎堂第一書店
初役二つ 〔昭和29・6名古屋御園座〕〔堀川御所・川連館〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和29・7	演劇出版社
吉のいない吉右衛門劇団 〔昭和29・6名古屋御園座〕〔堀川御所・川連館〕	劇評	前田満穂		幕間	昭和29・7	和敬書店
幕間随想 道行の忠信	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和30・1	和敬書店
重労働の顔見世 〔昭和29・12京都南座〕〔道行〕	劇評	井上甚之助		幕間	昭和30・1	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
黒塚のみ 〔昭和30・3大阪大阪歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和30・4	演劇出版社
猿之助助好 〔昭和30・3大阪大阪歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	桂田重治		幕間	昭和30・4	和敬書店
猿之助の権太 〔昭和30・4歌舞伎座〕〔鳥居前・すし屋〕	劇評	大木豊		劇評	昭和30・4	「劇評」社
弥助実は維盛 お里	芸談		《3》中村時蔵	演劇界	昭和30・5	演劇出版社
猿之助の権太 〔昭和30・4歌舞伎座〕〔鳥居前・すし屋〕	劇評	加賀山直三	《7》大谷友右衛門	演劇界	昭和30・5	演劇出版社
幕間随想 演出の効果〔すし屋の弥助〕	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和30・5	和敬書店
幕間随想 復帰できた喜び〔すし屋のお里〕	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和30・5	和敬書店
権太、西郷、おわさ他 〔昭和30・4歌舞伎座〕〔鳥居前・すし屋〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和30・5	和敬書店
すしや 静御前	鑑賞			劇評	昭和30・5	「劇評」社
十郎、忠信、五郎蔵など 〔昭和30・5歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎	《3》市川左団次	演劇界	昭和30・6	演劇出版社
レッテルだけの追善 歌舞伎座・屋の部 〔昭和30・5歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	戸部銀作		幕間	昭和30・6	和敬書店
若手活躍す 〔昭和30・7東横ホール〕	劇評	本地盈輝		演劇界	昭和30・8	演劇出版社
幕間随想 有難い先輩の鞭〔四の切の忠信〕	芸談		《4》坂東八十助	幕間	昭和30・8	和敬書店
わるくない古劇気分 〔昭和30・7東横ホール〕〔川連館〕	劇評	大木豊		幕間	昭和30・8	和敬書店
幕間随想 お紺の苦しみ〔静御前〕	芸談		《2》大川橋蔵	幕間	昭和30・8	和敬書店
静御前 狐忠信／静御前	芸談		《2》中村又五郎	演劇界	昭和31・5	演劇出版社
引窓、毛谷村他 〔昭和31・4東横ホール〕〔道行〕	劇評	三宅三郎	《14》守田勘弥	演劇界	昭和31・5	演劇出版社
中車ほか中堅の進出 〔昭和31・4東横ホール〕〔道行〕	劇評	仁村美津夫		幕間	昭和31・5	和敬書店
楽しませる菊五郎劇 〔昭和31・5歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	三宅三郎		劇評	昭和31・5	「劇評」社
「義経千本桜」三段目	研究	郡司正勝 戸部銀作 加賀山直三		演劇界	昭和31・6	演劇出版社
小せん／弥助	芸談		《3》市川左団次	演劇界	昭和31・6	演劇出版社
小金吾	芸談		《7》尾上梅幸	演劇界	昭和31・6	演劇出版社
維盛	芸談		《3》市川左団次	演劇界	昭和31・6	演劇出版社
梶原	芸談		《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和31・6	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
娘お里	芸談		《7》中村福助	演劇界	昭和31・6	演劇出版社
いがみの権太	芸談		《2》尾上松緑	演劇界	昭和31・6	演劇出版社
梅幸五態 〔昭和31・5歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和31・6	演劇出版社
「千本桜」三段目と「舌を噛み切った女」 〔昭和31・5歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和31・6	和敬書店
中車、先ず好調 〔昭和31・8大阪大阪歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	辻部倣雄		演劇界	昭和31・9	演劇出版社
「渡海屋・大物浦」と「馬鬣の光秀」 〔昭和31・8大阪大阪歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	升屋治三郎		幕間	昭和31・9	和敬書店
いがみの権太	型	三宅三郎		『かぶきを見る眼』		昭和31年9月 新樹社
道行の忠信	型	三宅三郎		『かぶきを見る眼』		昭和31年9月 新樹社
ふるさとの歌・本能愛の悲しみ〔四の切〕	鑑賞	加賀山直三		『歌舞伎の視角 十六種の狂言鑑賞を通して』		昭和31年10月 角川書店 『歌舞伎』昭和43年1月、雄山閣出版に所収。
劇人閑話 その二	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和31・10	和敬書店
まさに百貨店興行 〔昭和32・2東横ホール〕〔鳥居前・すし屋〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和32・3	演劇出版社
幕間随想 グロッキー〔すし屋の権太〕	芸談		《3》河原崎権十郎	幕間	昭和32・3	和敬書店
幕間随想 千代と弥助〔鳥居前の義経・すし屋の弥助〕	芸談		《6》尾上菊蔵	幕間	昭和32・3	和敬書店
劇人閑話 その三	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和32・3	演劇出版社
大物古典二つと若手 〔昭和32・2東横ホール〕〔鳥居前・すし屋〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和32・3	和敬書店
幕間随想 五つの大役〔道行の忠信〕	芸談		《4》坂東鶴之助	幕間	昭和32・4	和敬書店
幕間随想 六役の忙しさ〔道行の静御前〕	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和32・4	和敬書店
若手の清潔さ 〔昭和32・3大阪中座〕〔道行〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和32・4	和敬書店
梅と松・左 〔昭和32・4名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和32・5	演劇出版社
名古屋の菊五郎劇団 〔昭和32・4名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	前田満穂		幕間	昭和32・5	和敬書店
千本桜	鑑賞	安藤鶴夫		演劇界 歌舞伎狂言百科2	昭和32・11増刊	演劇出版社
「玉三」その他 〔昭和32・11歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	加賀山直三		劇評	昭和32・11	「劇評」社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
佳作「司法卿捕縛」 〔昭和32・11歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和32・12	演劇出版社
幕間随想 二部制の辛さ〔道行の権太〕〔道行の藤太〕	芸談		《8》市川中車	幕間	昭和32・12	和敬書店
芸術祭歌舞伎 〔昭和32・11歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和32・12	和敬書店
戌歳京の顔見世記 〔昭和32・12京都南座〕〔道行〕	劇評	井上基之助／文 高木四郎／彖		幕間	昭和33・1	和敬書店
知盛、保名、暁雨 〔昭和33・3歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	加賀山直三		劇評	昭和33・3	「劇評」社
菊五郎劇団の十年 〔昭和33・3歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和33・4	演劇出版社
十周年記念芝居 菊五郎劇団の歌舞伎座 〔昭和33・3歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和33・4	和敬書店
安全第一・囃に当る 〔昭和33・9明治座〕〔すし屋〕	劇評	戸部銀作		劇評	昭和33・9	「劇評」社
至極平穩 無事な明治座 〔昭和33・9明治座〕〔すし屋〕	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和33・10	演劇出版社
佳作揃いで安全 明治座の菊五郎劇団 〔昭和33・9明治座〕〔すし屋〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和33・10	和敬書店
吉右衛門劇団の公演から 〔昭和33・10名古屋御園座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	藤野義雄		演劇界	昭和33・11	演劇出版社
勘・幸・歌を中心に 〔昭和33・10名古屋御園座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	藤野義雄		幕間	昭和33・11	和敬書店
九州路の友右衛門と延二郎 〔昭和33・10地方公演〕〔すし屋〕	劇評	佐々木滋寛		幕間	昭和33・11	和敬書店
演舞場と初春芝居 〔昭和34・1新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		劇評	昭和34・1	「劇評」社
菊五郎劇団の初春興行 〔昭和34・1新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和34・2	演劇出版社
恒例・初芝居の歌舞伎座 〔昭和34・1歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	戸部銀作		幕間	昭和34・2	和敬書店
吉例菊五郎劇団 〔昭和34・1新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・2	和敬書店
復活第二回目の団菊祭 〔昭和34・5歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和34・6	演劇出版社
幕間随想 「千本道行」の扮装	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和34・6	和敬書店
団菊祭公演 〔昭和34・5歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・6	和敬書店
九月各座の舞踊劇 〔昭和34・9歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	若松三郎		劇評	昭和34・9	「劇評」社
十一時間、全部観られます 〔昭和34・9歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和34・10	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
初秋大歌舞伎 〔昭和34・9歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・10	和敬書店
千本桜（義経千本桜）	解説	戸板康二		『歌舞伎鑑賞入門』		昭和34年12月 創元社
南座の花梢会と二つの近松物 〔昭和35・6京都南座〕〔川連館〕	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和35・7	演劇出版社
幕間随想 「四の切」の忠信	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和35・7	和敬書店
代打失格の弁 南座花梢会公演評にかえて 〔昭和35・6京都南座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		幕間	昭和35・7	和敬書店
幕間随想 大役に疲れる〔道行の忠信〕	芸談		《4》坂東鶴之助	幕間	昭和36・1	和敬書店
見せたがる三人を支持する 〔昭和35・12東横ホール〕〔道行〕	劇評	戸部銀作		幕間	昭和36・1	和敬書店
義経千本桜	解説	河竹繁俊		『演劇百科大事典』	第四巻	昭和36年3月 平凡社 早稲田大学演劇博物館／編
名作の味わい方 千本桜	鑑賞	藤田洋		演劇界	昭和36・5	演劇出版社
並びは華やかだが 〔昭和36・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和36・5	演劇出版社
幕間随想 本行による「四ノ切」	芸談		《17》中村勤三郎	幕間	昭和36・5	和敬書店
幕間随想 「続残菊」いろいろ〔四の切の静御前〕	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和36・5	和敬書店
幕間随想 内容は現代のもの〔四の切の義経〕	芸談		《17》市村羽左衛門	幕間	昭和36・5	和敬書店
幕間随想 河連館を共演して	芸談		《10》竹澤弥七	幕間	昭和36・5	和敬書店
ごもくずし的狂言立て 〔昭和36・4歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和36・5	和敬書店
正真正銘・奮闘劇 〔昭和36・7東横ホール〕〔すし屋〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和36・8	演劇出版社
幕間随想 出ずっぱり〔すし屋の弥助〕	芸談		《4》中村時蔵	幕間	昭和36・8	和敬書店
幕間随想 二度目とはいても〔すし屋のお里〕	芸談		《4》沢村由次郎	幕間	昭和36・8	和敬書店
免がれ難い単調さ 東横の時・鶴奮闘劇 〔昭和36・7東横ホール〕〔すし屋〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和36・8	和敬書店
古行事の本旨 〔昭和36・12京都南座〕〔道行〕	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和37・1	演劇出版社
歌舞伎の見果てぬ夢 〔昭和37・6東京宝塚劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和37・8	演劇出版社
お里のむずかしさ	芸談		《7》大谷友右衛門	演劇界	昭和37・11	演劇出版社
初役の小金吾	芸談		《4》坂東鶴之助	演劇界	昭和37・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「千本桜」三段目その他 〔昭和37・10歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和37・11	演劇出版社
お園と静御前	芸談		《7》市川門之助	演劇界	昭和38・5	演劇出版社
忠信を中心に	芸談		《4》坂東鶴之助	演劇界	昭和38・5	演劇出版社
力作、野口達二の「富樫」 〔昭和38・4東横ホール〕〔川連館〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和38・5	演劇出版社
仁左衛門歌舞伎 意識と成果 〔昭和38・7大阪文楽座〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和38・8	演劇出版社
歌舞伎名作の見かたと味わいかた 義経千本桜 (大物浦)	鑑賞	藤田洋		演劇界	昭和38・9	演劇出版社
役者冥利の知盛と忠信	芸談		《2》尾上松緑	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
勉強になる静御前	芸談		《2》中村扇雀	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
もたれ役の義経	芸談		《14》守田勘弥	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
感激の典侍の局	芸談		《7》大谷友右衛門	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
相模五郎と注進役	芸談		《8》坂東三津五郎	演劇界	昭和38・10	演劇出版社
古典かぶきの新歌舞伎の勝負 〔昭和38・9歌舞伎座〕〔鳥居屋・渡海屋・大物浦・道行・川連館〕	劇評	郡司正勝		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
満足そうな客席の表情 〔昭和38・10名古屋御園座〕〔すし屋・川連館〕	劇評	鷺見房子		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
充実した「義経千本桜」 〔昭和38・9歌舞伎座〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和38・10	演劇出版社
〔権太〕	芸談	渡辺茂雄	《2》市川猿之助	『猿翁芸談聞書』		昭和38年11月 時事通信社
御園座・猿之助芝居 〔昭和39・2名古屋御園座〕〔道行〕	劇評	殿島蒼人		演劇界	昭和39・3	演劇出版社
吉野山	芸談	仁村美津夫／監修	《2》市川猿之助／編	『猿翁』		昭和39年6月 東京書房
勘弥の「実盛」 〔昭和39・12東横ホール〕〔川連館〕	劇評	田中俊夫		演劇界	昭和40・1	演劇出版社
雀右衛門の危機 〔昭和40・6大阪大阪歌舞伎座〕〔道行・川連館〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和40・7	演劇出版社
若手公演の意義 〔昭和40・12東横ホール〕〔道行〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和41・1	演劇出版社
背丈の揃った「千本桜」 〔昭和41・1大阪中座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和41・2	演劇出版社
上方の水の味 〔昭和41・6東横ホール〕	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和41・7	演劇出版社
顔見世十三時間半 〔昭和41・12京都南座〕〔川連館〕	劇評	井上甚之助		演劇界	昭和42・1	演劇出版社
顔揃大歌舞伎 〔昭和42・1歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和42・2	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
権十郎・訥升の活躍 〔昭和42・2東横ホール〕〔すし屋〕	劇評	田中志保子		演劇界	昭和42・3	演劇出版社
「千本桜」の中心に 〔昭和42・8新橋演舞場〕〔すし屋・川連館〕	劇評	利倉幸一		演劇界	昭和42・9	演劇出版社
密度の濃い「時雨の炬燵」 〔昭和42・11歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	郡司正勝		演劇界	昭和42・12	演劇出版社
義経千本桜案内 義経千本桜案内 千本桜 型のいろいろ	型	三宅三郎		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 各段鑑賞読本 序段の意義	鑑賞	小笠原恭子		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 各段鑑賞読本 二段目 連想的「大物浦鑑賞」	鑑賞	落合清彦		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 各段鑑賞読本 三段目 悲愴なテーマの「鮎屋」	鑑賞	権藤芳一		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 各段鑑賞読本 四段目 「四の切」管見	鑑賞	金沢康隆		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 各段鑑賞読本 五段目 幻化の相	鑑賞	中村哲郎		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 各段鑑賞読本 判官びいきと悲劇の立役	鑑賞	飯塚友一郎		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 「千本桜」の作者と時代	鑑賞	鳥越文蔵		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜案内 印象に残る「千本桜」役々	懐旧	遠藤為春		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
少数精鋭の一座 〔昭和43・2大阪大阪新歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和43・3	演劇出版社
義経千本桜 歌舞伎と人形浄瑠璃	鑑賞	高野正巳		国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
「芋洗い」と「狐六方」	鑑賞	金澤康隆		国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
大物の浦の場の基盤	解説	権藤芳一		国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
初音の旅から	鑑賞	沼艸雨		国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
「千本桜」歴史と名所の旅	史跡			国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
史実の源義経	考証	安田元久		国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
義経千本桜 よもやま話Ⅰ 堀川御所から道行まで	芸談		《8》竹本綱大夫 安藤鶴夫	国立劇場第一三回歌舞 伎公演解説書	昭和43・3	国立劇場事業部
「北嵯峨庵室」の復活	鑑賞	松崎仁		国立劇場第一四回歌舞 伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
「秋」を詠み込んだ芝居 椎ノ木と夕陽と竹藪と	解説	野口達二		国立劇場第一四回歌舞 伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
上方の権太と江戸の権太 二つの体系の距離は大きい	演出	山口廣一		国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
「四の切」雑感	鑑賞	浜村米蔵		国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
随筆源義経	鑑賞	村上元三		国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
「千本桜」歴史と名所の旅	史跡			国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
義経千本桜 よもやま話II 北嵯峨庵室から大詰まで	芸談		《8》竹本綱大夫 安藤鶴夫	国立劇場第一四回歌舞伎公演解説書	昭和43・4	国立劇場事業部
序切「川越上使」の不満 〔昭和43・3国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和43・4	演劇出版社
接着剂的通し狂言 〔昭和43・4国立劇場〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和43・5	演劇出版社
私の役づくり 銀平実は平知盛／いがみ権太／佐藤忠信	芸談	土岐迪子	《2》尾上松緑	演劇界	昭和44・3	演劇出版社
私の役づくり おりう実は典侍の局／弥助実は維盛／静御前	芸談	土岐迪子	《7》尾上梅幸	演劇界	昭和44・3	演劇出版社
音羽屋系の「すし屋」 〔昭和44・2歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋・道行・渡海屋・大物浦〕	劇評	水落潔		演劇界	昭和44・3	演劇出版社
充実した好舞台 〔昭和44・2名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	関山和夫		演劇界	昭和44・3	演劇出版社
狐忠信／碓知盛	鑑賞	河竹登志夫／文 吉田千秋／写真		『歌舞伎のいのち』		昭和44年3月 淡交社
義経千本桜	鑑賞	三宅三郎		演劇界 歌舞伎狂言の鑑賞 1	昭和44・5増刊	演劇出版社
古典鑑賞 渡海屋	鑑賞	権藤芳一		演劇界	昭和44・7	演劇出版社
複眼歌舞伎の成果 〔昭和44・6東横劇場〕〔道行〕	劇評	落合清彦		演劇界	昭和44・7	演劇出版社
ゼ二に採れる役者を 〔昭和44・6京都南座〕〔道行・すし屋〕	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和44・7	演劇出版社
古典鑑賞 すし屋	鑑賞	権藤芳一		演劇界	昭和44・8	演劇出版社
幼いなりに 〔昭和44・8国立劇場小劇場〕〔鳥居前〕	劇評	如月青子		演劇界	昭和44・10	演劇出版社
特集 義経千本桜 「義経千本桜」細見	鑑賞	富田鉄之助		季刊雑誌歌舞伎	昭和45・7	松竹株式会社演劇部
特集 義経千本桜 権太の悪	評論	青江舜二郎		季刊雑誌歌舞伎	昭和45・7	松竹株式会社演劇部
特集 義経千本桜 「義経千本桜」の夢幻性	研究	河竹登志夫		季刊雑誌歌舞伎	昭和45・7	松竹株式会社演劇部
特集 義経千本桜 「義経記」の世界	研究	森山重雄		季刊雑誌歌舞伎	昭和45・7	松竹株式会社演劇部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
芸の規格と伝承 〔昭和45・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上総英郎		演劇界	昭和45・8	演劇出版社
幻化の相「義経千本桜」五段目	評論	中村哲郎		『歌舞伎の幻』		昭和45年9月 前衛社
「千本桜」の「すしや」	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和45・10	演劇出版社
「鳴神」の新コンビ成功 〔昭和45・9歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	大木実		演劇界	昭和45・10	演劇出版社
「籠つるべ」「すしや」 〔昭和45・10歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和45・11	演劇出版社
歌舞伎名作選 義経千本桜二段目	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和46・7	演劇出版社
宙乗り狐六法 〔昭和46・6京都南座〕〔川連館〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和46・7	演劇出版社
猿之助百年記念の五役 〔昭和46・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	河竹登志夫		演劇界	昭和46・7	演劇出版社
美しい海老蔵知盛の怨念 〔昭和46・7国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	平野英俊		演劇界	昭和46・8	演劇出版社
「吉野山」の忠信／「四の切」の忠信	芸談		《2》尾上松緑	『踊りの心』		昭和46年10月 毎日新聞社
過ぎ去ったイメージのもとに 〔昭和46・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	成瀬正勝		演劇界	昭和46・12	演劇出版社
おもしろく、笑いが不足 〔昭和46・12帝国劇場〕〔道行〕	劇評	青江舜二郎		演劇界	昭和47・1	演劇出版社
対応する菊吉の遺産 〔昭和46・12京都南座〕〔すし屋〕	劇評	山口廣一		演劇界	昭和47・1	演劇出版社
すし屋	芸談	藤田洋／編	《2》中村鴈治郎	『鴈治郎の歳月』		昭和47年2月 文化出版局
猿之助名演集 〔昭和47・6京都南座〕〔川連館・道行〕	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和47・7	演劇出版社
絶品「申酉（お祭り）」 〔昭和47・7歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦。道行〕	劇評	小野英一		演劇界	昭和47・8	演劇出版社
若い人々と歌舞伎 〔昭和47・7国立劇場〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	藤巻透		演劇界	昭和47・8	演劇出版社
三賞揃った芝居 〔昭和47・10名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和47・11	演劇出版社
新路線の歌舞伎 〔昭和48・1大阪大阪新歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和48・2	演劇出版社
猿之助の「骨寄せ」など 〔昭和48・9大阪大阪新歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和48・10	演劇出版社
七代目襲名芝居 〔昭和48・10歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和48・11	演劇出版社
梅組・松組の合体 〔昭和49・1国立劇場〕〔道行〕	劇評	岸井良衛		演劇界	昭和49・2	演劇出版社
「勸進帳」の役柄 〔昭和49・2大阪大阪新歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和49・3	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
いがみの権太	芸談		《2》中村鴈治郎	『役者馬鹿』		昭和49年5月 日本経済新聞社
やはり、脚本です 〔昭和49・6京都南座〕〔すし屋〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和49・7	演劇出版社
人間性の幅と演技の幅 〔昭和49・10新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	野村喬		演劇界	昭和49・11	演劇出版社
秋の顔見世所見 〔昭和49・10名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	鷺見房子		演劇界	昭和49・11	演劇出版社
〔すし屋・四の切〕	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎の芸』		昭和49年11月 私家版
南座顔見世観劇 〔昭和49・11京都南座〕〔道行〕	劇評	依田義賢		演劇界	昭和50・1	演劇出版社
猿之助の歌舞伎姿勢 〔昭和50・1大阪大阪新歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	福島秀治		演劇界	昭和50・2	演劇出版社
芝居っけ、をめぐる感想 〔昭和50・2歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	利根川裕		演劇界	昭和50・3	演劇出版社
猿之助と孝夫 〔昭和50・5京都南座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和50・6	演劇出版社
問題はらむ菊五郎劇団 〔昭和50・5大阪大阪新歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和50・6	演劇出版社
幸四郎と菊五郎と当り役 〔昭和50・9歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和50・10	演劇出版社
染五郎初役の権太など 〔昭和50・12帝国劇場〕	劇評	林京平		演劇界	昭和51・1	演劇出版社
若さと意慾の奮闘公演 〔昭和50・12名古屋御園座〕〔道行〕	劇評	関山和夫		演劇界	昭和51・1	演劇出版社
「義経千本桜」の三役〔知盛・権太・狐忠信〕	演出		《3》市川猿之助	『演者の目』		昭和51年3月 朝日新聞社
千本桜	鑑賞	落合清彦		季刊雑誌歌舞伎 別冊七号 歌舞伎名作鑑賞 第三集	昭和51・3	松竹株式会社演劇部
芸団協の「義経伝説の芸能」	雑記	藤田洋		演劇界	昭和51・5	演劇出版社
「桂川」と「吉野山」〔義太夫による道行〕	芸談		《13》片岡仁左衛門	『嵯峨談語』		昭和51年6月 三月書房
“江戸ッ子”の権太／「四の切」の忠信	芸談		《2》尾上松緑	『役者の子は役者』		昭和51年7月 日本経済新聞社
腕を上げた猿之助 〔昭和51・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和51・8	演劇出版社
源平の群像	鑑賞	永井路子		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
超一級の歌舞伎 名作ゆえにこそ、多彩な演技がある	鑑賞	山口廣一		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
「実は」の作劇法	研究	原道生		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部
「義経千本桜」の初演のころ	評論	横山正		国立劇場第八十回歌舞伎公演解説書	昭和51・10	国立劇場事業部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
義経千本桜 四段目 狐忠信	鑑賞	山田恒雄		『歌舞伎の心』		昭和51年11月 丸井図書出版
円熟と無反省 〔昭和51・10国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・ 渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	堂本正樹		演劇界	昭和51・11	演劇出版社
沙羅双樹の花の色	鑑賞	杉本苑子		国立劇場第八一回歌舞 伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
江戸歌舞伎のおもしろさの追究	鑑賞	大鋸時生		国立劇場第八一回歌舞 伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
歌舞伎と操り	研究	阪倉篤義		国立劇場第八一回歌舞 伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
滅びの詩	評論	今尾哲也		国立劇場第八一回歌舞 伎公演解説書	昭和51・11	国立劇場事業部
義経千本桜 庵室	芸談	《13》片岡仁左衛門		『役者七十年』		昭和51年12月 朝日新聞社
超一級品梅幸の二役 〔昭和51・11国立劇場〕〔北嵯峨・木の実・竹 藪・すし屋・川連館〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和51・12	演劇出版社
新作のゆくえ 〔昭和52・4歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	利根川裕		演劇界	昭和52・5	演劇出版社
充実した「四の切」 〔昭和52・5京都南座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和52・6	演劇出版社
河連法眼館の段	解説	戸板康二		『鑑賞日本古典文学 第 30巻 浄瑠璃・歌舞伎』		昭和52年6月 角川書店 戸板康二／編集
三人三様の「鏡獅子」 〔昭和52・10歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村巖		演劇界	昭和52・11	演劇出版社
義経千本桜案内 没落の序曲 堀川・鳥居前	鑑賞	清水一朗		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 豪宕・悲愴・凄惨 渡海屋・大物浦	鑑賞	藤井康雄		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 世話と時代 木の実・小金吾討死・鮎屋	鑑賞	和角仁		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 春愁の賦 河連法眼館	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 不思議な二人旅 吉野山	鑑賞	西形節子		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 生きていた三人	鑑賞	戸板康二		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 義経流転の跡を訪ねて	解説	河合眞澄		演劇界	昭和53・5	演劇出版社
義経千本桜案内 「義経千本桜」閑談	懐旧 談	藤浦富太郎		演劇界	昭和53・5	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
延若の奮闘 芝翫の実力 〔昭和53・5大阪朝日座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和53・6	演劇出版社
「義経千本桜」で権太を熱演の延若 〔昭和53・5大阪朝日座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	栗山和義		上方芸能	五七号	昭和53年7月 『上方芸能』編集部
辰之助知盛の門出 〔昭和53・6国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	野村喬		演劇界	昭和53・7	演劇出版社
「鮎屋」寸評 〔昭和53・7国立劇場〕〔すし屋〕	劇評	和角仁		演劇界	昭和53・8	演劇出版社
「実は」の作劇法(上) 「義経千本桜」の場合 忠信の鼓／お里の前垂れ／小せんの呼吸／静御前の鼓	研究 鑑賞	原道生 渡辺保		文学 『女形百姿』	昭和53・8	岩波書店 昭和53年9月 青蛙房
「実は」の作劇法(下) 「義経千本桜」の場合 歌右衛門の「春日局」 〔昭和53・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	研究 劇評	原道生 吉田登喜雄		文学 演劇界	昭和53・10 昭和53・10	岩波書店 演劇出版社
歌右衛門の芸格で成功の昭和史劇「春日局」 〔昭和53・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	劇評	栗山和義		上方芸能	六十号	昭和54年2月 『上方芸能』編集部
歌舞伎の演出〔すし屋〕	演出	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄二全集』	第一巻	昭和53年11月 三一書房
盛り上りに欠ける顔見世 〔昭和53・11京都南座〕〔道行〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和54・1	演劇出版社
賞讃すべき「寺子屋」 〔昭和54・1歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	小野英一		演劇界	昭和54・2	演劇出版社
『三大歌舞伎 菅原・千本桜・忠臣蔵』	鑑賞	郡司正勝／監修 林嘉吉 飯村隆／写真		『三大歌舞伎 菅原・千本桜・忠臣蔵』		昭和54年3月 毎日新聞社
かつぼれ〔すし屋〕	演出	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄二全集』	第二巻	昭和54年3月 三一書房
〔渡海屋・大物浦〕	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎鑑賞 続』		昭和54年6月 私家版
義経千本桜〔文楽舞踊〕	解説	武智鉄二		『定本武智歌舞伎 武智鉄二全集』	第三巻	昭和54年8月 三一書房
梅幸再説〔すし屋〕	評論	渡辺保	弥助(《7》尾上梅幸)	演劇界	昭和54・10	演劇出版社 『歌舞伎の役者たち』昭和58年10月、駸々堂出版に所収。
人間味溢れる勘三郎の権太 〔昭和54・9歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和54・10	演劇出版社
手足揃いではあるが 〔昭和54・9名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和54・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
義経千本桜 よもやま話	芸談	朝日新聞社／編	《8》竹本綱大夫 安藤鶴夫	『対談集 かぶきの花と心』		昭和55年1月 朝日新聞社
「もどり」三態(承前)	研究	田代慶一郎		筑波大学現代語・現代文化学系 言語文化論集	第8号	昭和55年1月 筑波大学
名企画の奮闘劇 〔昭和55・7歌舞伎座〕	劇評	水落潔		演劇界	昭和55・8	演劇出版社
『義経千本桜』	現代語訳	村上元三／著 吉原俊一／編		『義経千本桜』		昭和55年9月 学習研究社 現代語訳日本の古典18
東京型と大阪型(いがみの権太)	演出	山口廣一		『西と東の歌舞伎』		昭和55年10月 演劇出版社
菊五郎初役の忠信 〔昭和55・9国立劇場〕〔道行・川連館〕	劇評	浜村道哉		演劇界	昭和55・10	演劇出版社
『義経千本桜』	写真解説	杵島隆		『義経千本桜』	巻1～巻4	昭和56年3月 日本放送協会 浮世絵、歌舞伎上・下、文楽
古典の壁は厚かった 〔昭和56・5京都南座〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋・川連館・蔵王堂〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和56・7	演劇出版社
「義経千本桜」通し上演 〔昭和56・5京都南座〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋・川連館・蔵王堂〕	劇評	栗山和義		上方芸能	七二号	昭和56年8月 『上方芸能』編集部
更に機会を 〔昭和56・8国立劇場〕〔鳥居前〕	劇評	藤巻透		演劇界	昭和56・9	演劇出版社
鑑賞案内・名曲舞踊十二選 吉野山	鑑賞	西形節子		演劇界	昭和57・4	演劇出版社
義経千本桜	鑑賞	渡辺保		『歌舞伎手帖』		昭和57年7月 駈々堂出版
義経千本桜	鑑賞	渡辺保		『新版歌舞伎手帖』		平成13年1月 講談社
原平世界の三本立 〔昭和57・10歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	水落潔		演劇界	昭和57・11	演劇出版社
「義経千本桜」と能「船弁慶」	研究	北川忠彦		国立劇場第一一八回歌舞伎公演解説書	昭和57・12	国立劇場事業部
劇団制の効用 〔昭和57・12国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和58・1	演劇出版社
舞台は充実、客席が 〔昭和58・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	昭和58・2	演劇出版社
義経千本桜	解説鑑賞	水落潔		『歌舞伎名作事典』		昭和58年3月 演劇出版社
猿之助のカブキ 欄間抜け 義経千本桜四ノ切より	芸談		《3》市川猿之助	芸術新潮	昭和58・3	新潮社
新演出「すし屋」と「浮舟」 〔昭和58・3歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和58・4	演劇出版社
兼ねる役者猿之助 〔昭和58・5名古屋御園座〕〔道行〕	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和58・6	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
義経千本桜	解説	今尾哲也		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
狐手	解説	高瀬精一郎		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
ケレン・外連	解説	織田紘二		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
隈取〔火焰隈〕	解説	小池章太郎		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
源平合戦物	解説	原道生		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
宙乗り	解説	小池章太郎		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
並木宗輔	解説	内山美樹子		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
六方（法）	解説	鳥越文蔵		『歌舞伎事典』 『〈新版〉歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編 平成23年3月
好企画・忠臣の通し 〔昭和58・10歌舞伎座〕〔大内・堀川御所・鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和58・11	演劇出版社
新演出「いがみの権太」	演出	宇野信夫		序破急	昭和58・11	序破急社
義太夫歌舞伎の演出「すしや」を例として	演出	水落潔		序破急	昭和59・3	序破急社
歌舞伎改革の基本精神〔すし屋〕	評論	河地四郎		序破急	昭和59・3	序破急社
なぜ「ケレン」芝居なのか〔四の切〕／猿之助歌舞伎とは〔義経千本桜〕／早替りと欄間抜け〔四の切〕	演出	《3》市川猿之助		『猿之助修羅舞台』		昭和59年5月 大和山出版社
舞台上に専念するようになって	演出	《3》市川猿之助	知盛（《1》市川猿翁）	『猿之助修羅舞台』		昭和59年5月 大和山出版社
なぜ「ケレン」芝居なのか〔四の切〕	演出	《3》市川猿之助		『猿之助修羅舞台』		昭和59年5月 大和山出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
猿之助歌舞伎とは〔義経千本桜〕	演出	《3》市川猿之助		『猿之助修羅舞台』		昭和59年5月 大和山出版社
早替りと欄間抜け〔四の切〕	演出	《3》市川猿之助		『猿之助の歌舞伎講座』		昭和59年5月 新潮社
三つの勉強会 〔昭和58・8国立劇場〕〔すし屋〕	劇評	二川清		演劇界	昭和59・9	演劇出版社
浄瑠璃三大名作〔すし屋の権太〕	演出	水落潔	《13》片岡仁左衛門	『とうざいとうざい 歌舞伎芸談西東』		昭和59年10月 自由書館
二本立の通し狂言 〔昭和59・9京都南座〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和59・10	演劇出版社
実事本位の十兵衛 〔昭和59・9京都南座〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	栗山和義		上方芸能	八七号	昭和60年2月 『上方芸能』編集部
動物づくし 狐	芸談	関容子	《17》中村勘三郎	『中村勘三郎楽屋ばなし』		昭和60年1月 文芸春秋 昭和62年12月 文春文庫
義太夫三つと新作 〔昭和60・1歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和60・2	演劇出版社
〔義経千本桜 鮎屋〕	芸談	山田庄一／ききて	《13》片岡仁左衛門	『十三代目片岡仁左衛門にきく 松島屋芝居ばなし 歌舞伎の型』		昭和60年3月 国立劇場
代表作をもって対陣 〔昭和60・4明治座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・すし屋・川連館・蔵王堂〕	劇評	中村哲郎		演劇界	昭和60・5	演劇出版社
猿之助一座の訪欧歌舞伎 〔昭和60・5～6海外公演〕	報告	藤田洋	忠信（《3》市川猿之助）	演劇界	昭和60・8	演劇出版社
いえの芸の大佛戯曲 〔昭和60・9歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和60・7	演劇出版社
壮麗・猿之助歌舞伎 〔昭和60・9京都南座〕〔道行〕	劇評	栗山和義		演劇界	昭和60・10	演劇出版社
歌舞伎の危機と猿之助への期待 〔昭和60・12歌舞伎座〕〔鳥居前・吉野山・川連館・蔵王堂〕	劇評	林京平		演劇界	昭和61・1	演劇出版社
義経千本桜	解説 梗概	灰田由記子 吉永孝雄		『浄瑠璃作品要説〈4〉 竹田出雲篇』		昭和61年2月 国立劇場芸能調査室編
〔お里・若葉の内侍・小せん・典侍局・静御前〕	芸談	河村藤雄	《6》中村歌右衛門	『六代目中村歌右衛門』	下巻	昭和61年2月 小学館
青年知盛 〔昭和61・4国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	藤巻透		演劇界	昭和61・5	演劇出版社
菊五郎の二役 〔昭和61・6歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	萩原雪夫		演劇界	昭和61・7	演劇出版社
播磨屋の忠信をこそ 〔昭和61・6国立劇場〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	昭和61・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
イキはいいがもうイキ 〔昭和61・9歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和61・10	演劇出版社
猿之助演出の「義経千本桜」 〔昭和62・5新橋演舞場〕〔渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和62・6	演劇出版社
ザ・カブキ「義経千本桜」 〔昭和62・6名古屋中日劇場〕〔鳥居前・吉野山・川連館・蔵王堂〕	劇評	安田文吉		演劇界	昭和62・7	演劇出版社
猿之助着想と豊かさ 〔昭和62・9京都南座〕〔大物浦・道行・川連館〕	劇評	福島秀治		演劇界	昭和62・10	演劇出版社
整った舞台 〔昭和62・10名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	関山和夫		演劇界	昭和62・11	演劇出版社
スペインの評判記とパリの宙乗り 〔昭和62・10海外公演〕	劇評	横溝幸子		演劇界	昭和62・12	演劇出版社
演劇的パフォーマンス 〔昭和63・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	利根川裕		演劇界	昭和63・2	演劇出版社
静御前／お里	鑑賞 写真	津田類 吉田千秋／写真		『女方 歌舞伎のヒロインたち』		昭和63年5月 朝日新聞社
「義経千本桜」の深い奥行き	演出	藤田洋	《3》市川猿之助	『猿之助歌舞伎ヨーロッパへ宙乗り』		昭和63年7月 朝日新聞社
歌書よりも軍書に悲し吉野山 〔昭和63・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館・蔵王堂〕	劇評	天野道映		演劇界	昭和63・8	演劇出版社
佳編「吉野山」 〔昭和63・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館・蔵王堂〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和63・8	演劇出版社
作品研究「義経千本桜」三段目鮎屋 場面化されぬドラマ 権太の「もどり」	研究	原道生		歌舞伎 研究と批評	創刊号	昭和63年8月 歌舞伎学会
作品研究「義経千本桜」三段目鮎屋 「すし屋」権太演出の系譜	研究	志野葉太郎		歌舞伎 研究と批評	創刊号	昭和63年8月 歌舞伎学会
作品研究「義経千本桜」三段目鮎屋 非行息子権太とその父 親子の構図から見た「義経千本桜」	研究	堂本正樹		歌舞伎 研究と批評	創刊号	昭和63年8月 歌舞伎学会
作品研究「義経千本桜」三段目鮎屋 運命をかたる人々	研究	松井今朝子		歌舞伎 研究と批評	創刊号	昭和63年8月 歌舞伎学会
作品研究「義経千本桜」三段目鮎屋 翻刻 千本さくら〔文化5年5月中村座の評判記〕	翻刻	井上伸子 品川隆重		歌舞伎 研究と批評	創刊号	昭和63年8月 歌舞伎学会
昭和の最後の歌舞伎 〔昭和63・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館・蔵王堂〕	劇評	天野道映		歌舞伎 研究と批評	2	昭和63年12月 歌舞伎学会
本来の「すし屋」 〔昭和63・8地方公演〕	劇評	岡田聡		演劇界	昭和63・9	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「志度寺」と「千本桜」の競演 〔昭和63・8国立劇場〕〔木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	津金規雄		演劇界	昭和63・10	演劇出版社
猿之助健在 〔昭和63・11大阪大阪新歌舞伎座〕〔鳥居前・吉野山・川連館・蔵王堂〕	劇評	大川達雄		演劇界	昭和63・12	演劇出版社
壮拳のさらなる発展を 〔平成1・3大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	福島秀治		演劇界	平成1・4	演劇出版社
権太とお初を演じた扇雀 〔平成1・3大阪中座〕〔すし屋〕	劇評	栗山和義		上方芸能	一〇一号	平成1年7月 『上方芸能』編集部
義経千本桜〔忠信・知盛・権太〕	芸談		《2》尾上松緑	『松緑芸話』		平成1年5月 講談社
吉右衛門健闘の三役 〔平成1・4歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成1・5	演劇出版社
義経千本桜のいがみの権太	解説	原道生		国文学 解釈と教材の研究 臨時増刊号「古典文学作中人物事典」	平成1・7	学燈社
源義経 〈貴種流離〉のダンディズム	鑑賞	杉本苑子		『歌舞伎のダンディズム』		平成1年8月 日本放送出版協会
真夏の桜 〔平成1・8地方公演〕〔吉野山〕	劇評	藤巻透		演劇界	平成1・10	演劇出版社
「義経千本桜」論	研究	内山美樹子		『浄瑠璃史の十八世紀』		平成1年10月 勉誠社
いがみの権太／狐忠信	鑑賞	水落潔		『歌舞伎紳士録・江戸のシティーボーイ』		平成1年11月 鎌倉書房
お里／静御前	鑑賞	水落潔		『歌舞伎淑女録・江戸のキャリアウーマン』		平成1年11月 鎌倉書房
市政百年・祝言の顔見世 〔平成1・10名古屋御園座〕〔道行〕	劇評	安田文吉		演劇界	平成1・11	演劇出版社
また逢う日まで、南座の顔見世 〔平成1・11京都南座〕〔川連館〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成2・1	演劇出版社
幸四郎・勘九郎の協力 〔平成1・12歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	野村喬		演劇界	平成2・1	演劇出版社
当り芸の継承のし方 〔平成2・1歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成2・2	演劇出版社
仁左衛門の孫右衛門 〔平成2・6大阪中座〕〔川連館〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成2・7	演劇出版社
勘九郎の「弁天」と「四の切」 〔平成2・6大阪中座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		歌舞伎 研究と批評	6	平成2年12月 歌舞伎学会
上方と東京の演出 その二〔すし屋・川連館〕	鑑賞	水落潔		『上方歌舞伎』		平成2年9月 東京書籍
『千本桜 花のない神話』	評論	渡辺保		『千本桜 花のない神話』		平成2年10月 東京書籍
歌舞伎白書から報告 戦後昭和歌舞伎の動向 〔「義経千本桜」の上演状況〕	研究	水田かや乃		歌舞伎 研究と批評	6	平成2年12月 歌舞伎学会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
益々好調「千本桜・忠信篇」 〔平成2・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成3・1	演劇出版社
まず新作の努力を 〔平成2・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	大笹吉雄		歌舞伎 研究と批評	7	平成3年6月 歌舞伎学会
猿之助、若手大抜擢の旅 〔平成3・1～2地方公演〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	河村常雄		演劇界	平成3・4	演劇出版社
公文協道中双六『千本桜』の「四の切」への想い 〔平成3・1～2地方公演〕	芸談		《1》市川右近	年鑑おもだか	91	平成4年6月 おもだか会
若手抜擢の「旅の重さ」 〔平成3・1～2地方公演〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	河村常雄		年鑑おもだか	91	平成4年6月 おもだか会
義経千本桜	鑑賞	山川静夫 吉田千秋／写真		『山川静夫の歌舞伎十八選』		平成3年6月 講談社
歌書軍書に詠まれた舞台上で 〔平成3・6歌舞伎座〕〔吉野山〕	鑑賞	山口龍之輔	忠信（《3》中村歌昇）	演劇界	平成3・7	演劇出版社
我当工夫の「すし屋」 〔平成3・6地方公演〕	劇評	廓正子		演劇界	平成3・7	演劇出版社
江戸前・粋な権太 〔平成3・7地方公演〕〔すし屋〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成3・9	演劇出版社
猿之助歌舞伎満開 〔平成3・9大阪大阪新歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成3・10	演劇出版社
「義経千本桜」の「大物浦」／「義経千本桜」の「鮎屋」	型	志野葉太郎		『歌舞伎 型の伝承』		平成3年11月 演劇出版社
渡海屋・大物浦	鑑賞	内藤頼博		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
知盛 最期から生きはじめた英雄	鑑賞	秦恒平		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
道行初音旅	鑑賞	郡司正勝		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
義経の行方	鑑賞	秋元松代		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
九郎判官流離旅	史跡	榎その／絵		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
「義経千本桜」の魅力	鑑賞	菅泰男 林家辰三郎		国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
歌舞伎と文楽 知盛を語る	芸談		《1》吉田玉男 《12》市川団十郎	国立劇場第一六九回歌舞伎公演解説書	平成3・11	日本芸術文化振興会
快活な忠信・悲愴な知盛 〔平成3・11国立劇場〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成3・12	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
名優の芸1 延若「義経千本桜」権太	鑑賞	藤井康雄		大向う	第23号	平成3年12月 関西で歌舞伎を愛する会
つるべ鮒	鑑賞	村上元三		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
四の切随想	鑑賞	角田一郎		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
歴史の声・風土のみやび 桜の美学	鑑賞	前登志夫		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
義経と静御前	鑑賞	平岩弓枝		国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
歌舞伎と文楽 三段目を語る	芸談		《7》竹本住太夫 《7》尾上菊五郎	国立劇場第一七〇回歌舞伎公演解説書	平成3・12	日本芸術文化振興会
菊五郎が二つの大役 〔平成3・12国立劇場〕〔木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成4・1	演劇出版社
「熊谷陣屋」と「忠臣蔵七段目」 〔平成3・11京都南座〕〔吉野山〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成4・1	演劇出版社
国立劇場開場二五周年公演の「義経千本桜」を見て 〔平成3・11～12国立劇場〕〔北嵯峨・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	横道萬里雄		歌舞伎 研究と批評	第9号	平成4年6月 歌舞伎学会
天王寺屋芸談7「千本桜・吉野山」の忠信	芸談	中山幹雄	《5》中村富十郎	天王寺屋	平成4・1	天王寺屋オフィス
充実した四演目 〔平成4・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成4・2	演劇出版社
「宙乗り狐六法」一千回 〔平成4・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	大矢芳弘		『歌舞伎リアルタイム 同時代の演劇批評』		平成16年4月 森話社
義経千本桜 碓知盛	解説 鑑賞	河竹登志夫		『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門3』		平成4年7月 日本放送出版協会
碓知盛	芸談		《3》市川猿之助	『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門3』		平成4年7月 日本放送出版協会
義経千本桜 吉野山	写真 芸談	小田豊二／聞き手	《5》中村勘九郎	『勘九郎芝居ばなし』		平成4年8月 朝日新聞社
狐と芸能	鑑賞	郡司正勝		国立劇場第一七三回歌舞伎公演解説書	平成4・8	日本芸術文化振興会
キツネについて	鑑賞	増井光子		国立劇場第一七三回歌舞伎公演解説書	平成4・8	日本芸術文化振興会
初役みごとな競演 〔平成4・8歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成4・9	演劇出版社
歌舞伎ブームの中で 〔平成4・8歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	如月青子 渡辺保 犬丸治 上村以和於		歌舞伎 研究と批評	11	平成5年6月 歌舞伎学会
夏土産浪花鑑（四）〔権太〕	芸談		《5》中村勘九郎	『勘九郎ひとりがり 中村屋歳時記』		平成4年10月 集英社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
辰之助、智太郎健闘の勉強芝居 〔平成4・8国立劇場〕〔川連館〕	劇評	福本和生		演劇界	平成4・10	演劇出版社
狐忠信	芸談		《5》坂東八十助	演劇界	平成4・11	演劇出版社
孝夫の光秀、菊五郎の宗五郎 〔平成4・11京都南座〕〔吉野山〕	劇評	権藤芳一		演劇界	平成5・1	演劇出版社
昼夜を通じて光る「吉野山」 〔平成4・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	水落潔		演劇界	平成5・1	演劇出版社
歌舞伎ブームの中で 〔平成4・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	如月青子 渡辺保 犬丸治 上村以和於		歌舞伎 研究と批評	11	平成5年6月 歌舞伎学会
猿之助若手軍団のパルコ歌舞伎 〔平成5・1パルコ劇場〕〔鳥居前・道行・川連館〕	劇評	福本和生		演劇界	平成5・2	演劇出版社
義経千本桜 狐忠信・碓知盛	鑑賞	石橋健一郎		『歌舞伎見どころ聞きどころ 芸談でつづる歌舞伎鑑賞』		平成5年5月 淡交社
義経千本桜	鑑賞	水落潔		『歌舞伎鑑賞辞典』		平成5年9月 東京堂出版
「室町御所」の魅力 〔平成5・9歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	中村哲郎		演劇界	平成5・10	演劇出版社
鷹治郎・菊五郎が奮闘 〔平成5・11京都南座〕〔川連館〕	劇評	権藤芳一		演劇界	平成5・12	演劇出版社
明治座の春の泡雪 〔平成6・2明治座〕〔吉野山〕	劇評	中村哲郎		演劇界	平成6・3	演劇出版社
お稲荷さん キツネ 芝居 「義経千本桜」に見える稲荷信仰	随筆	角田豊正		朱	第37号	平成6年3月 伏見稲荷大社
歌舞伎舞踊鑑賞入門 吉野山	鑑賞	堂本正樹		演劇界	平成6・5	演劇出版社
義経千本桜	鑑賞	藤野義雄		『名作歌舞伎の舞台鑑賞』		平成6年6月 御園座
素踊りと衣裳付け 〔平成6・5国立劇場〕〔素踊りの吉野山〕	劇評	戸部銀作		演劇界	平成6・6	演劇出版社
復活狂言の台本と演出〔宙乗り〕	演出	戸部銀作		歌舞伎 研究と批評	13	平成6年6月 歌舞伎学会
忠孝狐のスペクタクル	鑑賞	河竹登志夫		国立劇場第四四回歌舞伎鑑賞教室解説書	平成6・6	日本芸術文化振興会
オーソドックスな「四の切」 〔平成6・6国立劇場〕〔川連館〕	劇評	林京平		演劇界	平成6・7	演劇出版社
“異類”の表現	鑑賞	石橋健一郎		演劇界	平成6・8	演劇出版社
「四の切」の忠信	芸談		《12》市川団十郎	演劇界	平成6・8	演劇出版社
右近が初役の知盛を健闘 〔平成6・8国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	福本和生		演劇界	平成6・9	演劇出版社
義経千本桜	解説	戸部銀作		演劇界 歌舞伎名作鑑賞丸本歌舞伎	平成7・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
山川静夫の三大名作インタビュー 日本人好みの無常観そしてメルヘン	芸談	山川静夫／聞き手	《3》市川猿之助	演劇界 歌舞伎名作鑑賞丸本歌舞伎	平成7・1	演劇出版社
義経千本桜 名セリフと芸談抄	台詞 芸談			演劇界 歌舞伎名作鑑賞丸本歌舞伎	平成7・1	演劇出版社
小狐たちの門出 〔平成7・1浅草公会堂〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成7・2	演劇出版社
狐 食肉目・いぬ科 義経千本桜	鑑賞	高久久		『歌舞伎動物記 十二支 尽歌舞伎色種』		平成7年2月 近代文芸社
猿之助の「天下茶屋」 〔平成7・2大阪大阪新歌舞伎座〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	藤井康雄		演劇界	平成7・3	演劇出版社
義経千本桜	鑑賞	石橋健一郎		『日本の伝統芸能3 歌舞伎と舞踊』		平成7年4月 小峰書店
四十七年前の「義経千本桜」	鑑賞	福本和生		演劇界	平成7・6	演劇出版社
松緑を偲ぶ「千本桜」	鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成7・6	演劇出版社
意義のあった「千本桜」通し 〔平成7・5歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦。道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	志野葉太郎 野村喬 水落潔		演劇界	平成7・6	演劇出版社
義経千本桜・河連法眼館／義経千本桜・大物浦／義経千本桜・鮎屋	解説	服部幸雄		『歌舞伎歳時記』		平成7年7月 新潮社
三代目市川猿之助論〔川連館〕	評論	水落潔		演劇界 市川猿之助の仕事	平成7・7増刊	演劇出版社
「あの忠信が…」〔川連館〕	鑑賞	橋本治		演劇界 市川猿之助の仕事	平成7・7増刊	演劇出版社
義経千本桜	解説	平田澄子		『講座日本の演劇4 近世の演劇』		平成7年8月 勉誠社 諏訪春雄・菅井幸雄／編
逸品「吉野山」と初役「茨木」 〔平成7・7歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成7・9	演劇出版社
合作浄瑠璃が見出した「卿の君」 頼朝・義経の不和をめぐって	研究	黒石陽子		日本文学	平成7・10	日本文学協会
花刻御園歌舞伎 〔平成8・4名古屋御園座〕〔吉野山〕	劇評	藤澤夏生		演劇界	平成8・5	演劇出版社
讃岐の春花の団菊祭 〔平成8・4香川金丸座〕〔すし屋〕	劇評	萩原雪夫		演劇界	平成8・5	演劇出版社
こんびら歌舞伎 団菊祭 〔平成8・4香川金丸座〕〔すし屋〕	劇評	関容子		演劇界	平成8・5	演劇出版社
華やかな菊之助の襲名 〔平成8・5歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成8・6	演劇出版社
皐月の東都各座 〔平成8・5歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	伊藤博明		歌舞伎 研究と批評	第18号	平成8年12月 歌舞伎学会
幸四郎の奮闘だが 〔平成8・6歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	如月青子		演劇界	平成8・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
猿之助歌舞伎の本質提示 〔平成8・6名古屋中日劇場〕〔鳥居前・川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成8・7	演劇出版社
義経千本桜	解説	水落潔		『歌舞伎名作事典』		平成8年8月 演劇出版社 改訂新版
父と子の花の歳月 〔平成8・10名古屋御園座〕〔すし屋〕	劇評	藤澤夏生		演劇界	平成8・11	演劇出版社
「猿之助十八番の内」の意味と中身 〔平成8・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	利根川裕		演劇界	平成9・1	演劇出版社
国立と歌舞伎座の一二月公演 〔平成8・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	水落潔		歌舞伎 研究と批評	第19号	平成9年6月 歌舞伎学会
墨染の桜と吉野の桜 〔平成8・12歌舞伎座〕〔鳥居前・道行・川連館・蔵王堂〕	劇評	大矢芳弘		『歌舞伎リアルタイム 同時代の演劇批評』		平成16年4月 森話社
大阪の劇場 松竹座柿葺落大歌舞伎劇評 〔平成9・3大阪大阪松竹座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成9・4	演劇出版社
花形巡業残暑陣 〔平成9・8～9地方公演〕〔吉野山〕	劇評	上のお空 石部堅吉		演劇界	平成9・10	演劇出版社
団十郎初役の権太 〔平成9・9歌舞伎座〕	劇評	如月青子		演劇界	平成9・10	演劇出版社
上方演出の「すし屋」 〔平成9・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成9・10	演劇出版社
ソフトから歌舞伎再生へ 〔平成9・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	劇評	河内厚郎		歌舞伎 研究と批評	第21号	平成10年6月 歌舞伎学会
上出来、秀太郎の維盛弥助 〔平成9・9京都南座〕〔木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	劇評	栗山和義		上方芸能	一二九号	平成10年6月 『上方芸能』編集部
ヨーロッパ版の「大物浦」 〔平成9・10地方公演〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成9・12	演劇出版社
「義経千本桜」夢幻美の世界	解説	河竹登志夫		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社
「義経千本桜」の演出	演出	松井俊諭		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」鑑賞	鑑賞	金森和子		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「鳥居前」の忠信	芸談	榎その	《5》中村富十郎	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
お柳実は典侍の局	芸談	榎その	《5》中村雀右衛門	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
銀平実は知盛	芸談	榎その	《12》市川団十郎	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
いがみの権太	芸談	榎その	《7》尾上菊五郎	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
静御前	芸談	榎その	《7》中村芝翫	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
源九郎狐	芸談	榎その	《3》市川猿之助	『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
駱駝の中の義経伝説	鑑賞	平岩弓枝		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
おじゃれずし、まぢやれずし	鑑賞	鈴木晋一		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
猫の忠信	鑑賞	《3》桂米朝		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
海外公演の「四の切」	鑑賞	金井俊一郎		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」役々の扮装	演出	金森和子		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「義経千本桜」の道具と仕掛	演出	神山彰		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」役と役者	芸談	石橋健一郎		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
「義経千本桜」を歩く	鑑賞	角田豊正		『歌舞伎の名舞台 義経千本桜』		平成10年3月 淡交社 河竹登志夫／監修 金森和子／編
仁左衛門の「熊谷陣屋」 〔平成10・2歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成10・3	演劇出版社
人形浄瑠璃の黄金時代 菅原・千本桜・忠臣蔵	鑑賞	諏訪春雄		『岩波講座 歌舞伎・文楽 第九巻 黄金時代の浄瑠璃とその後』		平成10年3月 岩波書店
義経千本桜	解説 鑑賞	金森和子		『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門9』		平成10年4月 日本放送出版協会
芸談にみる「千本桜」の三役 知盛・権太・忠信	芸談	富士務	《7》坂東三津五郎	『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門9』		平成10年4月 日本放送出版協会
座談会 作品研究の起点	研究	今尾哲也 内山美樹子 上村以和於 渡辺保 近藤瑞男／司会		歌舞伎 研究と批評	21	平成10年6月 歌舞伎学会
猿之助の三役の充実 〔平成10・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成10・8	演劇出版社
一九九八年後半の歌舞伎 〔平成10・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	佐藤俊一郎		歌舞伎 研究と批評	21	平成11年6月 歌舞伎学会
「千本桜」の三役完演 〔平成10・7歌舞伎座〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	大矢芳弘		『歌舞伎リアルタイム 同時代の演劇批評』		平成16年4月 森話社
華やかな仁左衛門襲名 〔平成10・10名古屋御園座〕〔吉野山〕	劇評	川村正		演劇界	平成10・10	演劇出版社
花の勢い 〔平成11・4名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	藤澤夏生		演劇界	平成11・5	演劇出版社
六代目はいまも生きている 〔平成11・5歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	浜村道哉		演劇界	平成11・6	演劇出版社
客と役者のすれ違い 〔平成11・5歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	大倉直人		歌舞伎 研究と批評	第24号	平成11年12月 歌舞伎学会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
関西の歌舞伎教室 〔平成11・6地方公演〕〔すし屋〕	劇評	坂東亜矢子		演劇界	平成11・7	演劇出版社
勘九郎の「四の切」への意識 〔平成11・8歌舞伎座〕	劇評	利根川裕		演劇界	平成11・9	演劇出版社
心持ちと型 〔平成11・8歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	25	平成12年6月 歌舞伎学会
「船弁慶」からの飛翔〈能〉の庶民的解釈	研究	権藤芳一		国立劇場第二一七回歌舞伎公演解説書	平成11・12	日本芸術文化振興会
知っておきたい作品20 義経千本桜／あてやかに魅せてこそ花（大物浦の知盛の衣裳）	鑑賞	《7》市川染五郎		『市川染五郎と歌舞伎へ行こう！』		平成12年1月 旬報社
幸四郎の感覚の若さ 〔平成11・12国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	清水一朗		演劇界	平成12・1	演劇出版社
十二月の歌舞伎 〔平成11・12国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	佐谷眞木人		歌舞伎 研究と批評	第25号	平成12年6月 歌舞伎学会
華やかな初芝居 〔平成12・1歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成12・2	演劇出版社
新しい「助六役者」の誕生 〔平成12・1新橋演舞場〕〔鳥居前〕	劇評	利根川裕		演劇界	平成12・2	演劇出版社
近松座、華やかに長門で柿落とし 〔平成12・3山口ルネッサながと〕〔吉野山〕	劇評	河村常雄		演劇界	平成12・4	演劇出版社
盛況のこんぴら歌舞伎 〔平成12・4香川金丸座〕〔吉野山・川連館〕	劇評	萩原雪夫		演劇界	平成12・6	演劇出版社
『八犬伝』と演劇(二)／浄瑠璃史をめぐって 操浄瑠璃の黄金時代 合作浄瑠璃における立役者の推定	研究	河合眞澄		『近世文学の交流 演劇と小説』		平成12年7月 清文堂出版
三作それぞれの面白さ 〔平成12・6歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	水落潔		演劇界	平成12・7～8合併号	演劇出版社
「もどり」変奏曲〔権太〕	鑑賞	佐藤俊一郎		演劇界 歌舞伎の悪 闇の咲く花	平成12・8増刊	演劇出版社
猿之助の三十年 〔平成12・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成12・9	演劇出版社
二十世紀の終末、そして宗十郎最後の舞台 〔平成12・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	佐藤俊一郎		歌舞伎 研究と批評	第27号	平成13年6月 歌舞伎学会
「歴史」確認のドラマ 知盛と実盛	研究	原道生		『古典講演シリーズ6 軍記物語とその劇化』		平成12年10月 臨川書店 国文学研究資料館／編
鴈治郎の共演で厚味 〔平成12・9大阪大阪松竹座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	廓正子		演劇界	平成12・11	演劇出版社
猿之助の「千本桜」問題点を中心に 〔平成12・9大阪大阪松竹座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	栗山和義		演劇界	平成12・11	演劇出版社
義経千本桜	解説	水落潔		『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門12』		平成13年4月 日本放送出版協会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
初役の知盛と鷺娘 〔平成13・4歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	水落潔		演劇界	平成13・6	演劇出版社
新世紀の幕開き 〔平成13・4歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	28	平成14年1月 歌舞伎学会
義経千本桜 〔平成13・4歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	芸談		《2》中村吉右衛門	『播磨屋画がたり』		平成16年8月 毎日新聞社
味付けたっぷりの「吉野山」 〔平成13・6京都南座〕〔吉野山〕	劇評	廓正子		演劇界	平成13・8	演劇出版社
素風に立つ 〔平成13・10名古屋御園座〕〔吉野山〕	劇評	木本公世		演劇界	平成13・12	演劇出版社
「義経千本桜」と私〔お里・静御前・典侍局〕	芸談		《4》中村雀右衛門	国立劇場第二二六回歌舞伎公演解説書	平成13・11	日本芸術文化振興会
権太のもどり	鑑賞	田代慶一郎		国立劇場第二二六回歌舞伎公演解説書	平成13・11	日本芸術文化振興会
知盛の幽霊を創出した能作者	鑑賞	樹下文隆		国立劇場第二二六回歌舞伎公演解説書	平成13・11	日本芸術文化振興会
団十郎の三役 〔平成13・11国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成14・1	演劇出版社
中村座の「義経千本桜」 〔平成13・11平成中村座〕〔渡海屋・大物浦・木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成14・1	演劇出版社
手に入った猿之助の権太 〔平成13・11地方公演〕〔すし屋〕	劇評	中村桂子		演劇界	平成14・1	演劇出版社
掛け渡す橋、その在処 〔平成13・11国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	上村以和於		歌舞伎 研究と批評	29	平成14年6月 歌舞伎学会
秋の陣三題噺 〔平成13・11国立劇場〕〔堀川御所・鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	29	平成14年6月 歌舞伎学会
〔四の切〕	鑑賞	堂本正樹		『歌舞伎舞踊の鑑賞』		平成14年2月 演劇出版社
浄瑠璃と歌舞伎における知盛像の変遷 覚書き	研究	鎌倉恵子		芸能の科学	29	平成14年3月 東京文化財研究所
「義経千本桜」（四の切）宙のりの魅力と忠信のうれい	鑑賞	おくだ健太郎	《3》市川猿之助	『NHK日本の伝統芸能 歌舞伎鑑賞入門13』		平成14年4月 日本放送出版協会
芯の座を占めた三津五郎 〔平成14・2福岡博多座〕〔吉野山〕	劇評	清水一朗		演劇界	平成14・4	演劇出版社
江戸と上方を往来の仁左衛門 〔平成14・4香川金丸座〕〔すし屋〕	劇評	廓正子		演劇界	平成14・7	演劇出版社
新しい松緑のために 〔平成14・5歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成14・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
一代の縮図 〔平成14・7歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成14・9	演劇出版社
長身に映える忠信 〔平成14・7大阪大阪松竹座〕〔吉野山〕	劇評	廓正子		演劇界	平成14・9	演劇出版社
新松緑の女雛男雛 〔平成14・7大阪大阪松竹座〕〔吉野山〕	劇評	上田由香利		上方芸能	一四六号	平成14年12月 『上方芸能』編集部
三津五郎二枚続 〔平成14・7地方公演〕〔吉野山〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成14・10	演劇出版社
上村吉弥の後の梅川 〔平成14・8大阪国立文楽劇場〕〔すし屋〕	劇評	坂東垂矢子		演劇界	平成14・11	演劇出版社
〈猿之助歌舞伎〉ということ 〔平成14・11地方公演〕〔川連館〕	劇評	津金規雄		演劇界	平成15・2	演劇出版社
花形の香一杯 〔平成15・1浅草公会堂〕〔川連館〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成15・3	演劇出版社
団十郎の豊穰と菊五郎の超然 〔平成15・2歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成15・4	演劇出版社
「歌舞伎四百年」という年 その上半期 〔平成15・2歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	津金規雄		歌舞伎 研究と批評	32	平成16年1月 歌舞伎学会
規格と実験のあいだ 〔平成15・2歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	三浦広平		歌舞伎 研究と批評	32	平成16年1月 歌舞伎学会
名作案内2 義太夫狂言 義経千本桜	解説 鑑賞	安富順		『芝居絵に見る江戸・明治の歌舞伎』		平成15年7月 小学館 早稲田大学演劇博物館／編
松緑のさわやかな進境 〔平成15・6地方公演〕〔すし屋〕	劇評	中村桂子		演劇界	平成15・9	演劇出版社
仁左衛門の権太 〔平成15・7大阪大阪松竹座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	森西真弓		演劇界	平成15・9	演劇出版社
二〇〇三年下半期の関西の舞台 〔平成15・7大阪大阪松竹座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	青木繁		歌舞伎 研究と批評	33	平成16年8月 歌舞伎学会
「清和源氏十五段」と「右大将鎌倉実記」、 「義経千本桜」	研究	内山美樹子		演劇研究センター紀要	三	平成16年1月 早稲田大学21世紀COEプログラム
近年最高の「九段目」 〔平成16・1歌舞伎座〕〔鳥居前〕	劇評	水落潔		演劇界	平成16・3	演劇出版社
競い合う花形歌舞伎 〔平成16・1浅草公会堂〕〔吉野山〕	劇評	大島幸久		演劇界	平成16・3	演劇出版社
朱の鳥居・玉垣と義経・狐忠信 「義経千本桜」 と伏見稲荷	研究	黒石陽子		朱	第47号	平成16年3月 伏見稲荷大社
狐忠信の位置 「義経千本桜」から	鑑賞	森西真弓		朱	第47号	平成16年3月 伏見稲荷大社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
「初一念」とは 〔平成16・3歌舞伎座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	大岩精二		演劇界	平成16・5	演劇出版社
仁左衛門初役の知盛 〔平成16・4歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	水落潔		演劇界	平成16・6	演劇出版社
仁左衛門初役の活躍 〔平成16・3～4歌舞伎座〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	34	平成17年1月 歌舞伎学会
「団十郎不在」の求心力 〔平成16・3～4歌舞伎座〕	劇評	犬丸治		歌舞伎 研究と批評	34	平成17年1月 歌舞伎学会
いま、助六がやってくる 〔平成16・6歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	利根川裕		演劇界	平成16・8	演劇出版社
「千本桜」のいがみの権太	型	渡辺保		『歌舞伎 型の魅力』		平成16年8月 角川書店
二年後の四の切 〔平成16・6地方公演〕〔川連館〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成16・10	演劇出版社
合評 〔平成16・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	水落潔 上村以和於		演劇界	平成16・9	演劇出版社
猿之助の不在、鴈治郎の健在 〔平成16・7歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	津金規雄		歌舞伎 研究と批評	35	平成17年6月 歌舞伎学会
「義経千本桜」の作者・構想と上演方法 2003年・2004年現在における	研究	内山美樹子		近松研究所紀要	15	平成17年2月 園田学園女子大学近松研究所
扇雀忠信大奮闘 〔平成17・4大阪大阪松竹座〕〔道行・川連館〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成17・7	演劇出版社
晴れやかな三月目 〔平成17・5歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成17・7	演劇出版社
髪結新三の面構え 〔平成17・5歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	児玉竜一		演劇界	平成17・7	演劇出版社
魁春襲名興行の大団円 〔平成17・6地方公演〕〔吉野山〕	劇評	中村桂子		演劇界	平成17・10	演劇出版社
楽しませた鑑賞教室 〔平成17・7国立劇場〕〔川連館〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成17・9	演劇出版社
江戸世話物と義太夫狂言の魅力 〔平成17・9福岡博多座〕〔大内・堀川御所・道行・川連館〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成17・11	演劇出版社
静御前の袖丈〔川連館〕	評論	渡辺保		『名女形 雀右衛門』		平成18年2月 新潮社
飛鳥／安徳天皇／いがみの権太／猪熊大之進／おくら／お里／片岡八郎／川越太郎／川連法眼／卿の君／小せん／典侍局／善太／平維盛／平知盛1／平教経／土佐坊昌俊／源義経1／弥左衛門／六代君／若葉の内侍	解説	古井戸秀夫		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
入江丹蔵／梶原平三景時2／小金吾武里／相模五郎／逸見藤太	解説	児玉竜一		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
亀井六郎2／狐忠信／佐藤四郎兵衛忠信／静御前 1／駿河次郎清繁	解説	安富順		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
弁慶4	解説	鈴木英一		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
大顔合わせの「道明寺」 〔平成18・3歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成18・5	演劇出版社
祝祭空間でいやすエネルギー 〔平成18・6地方公演〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成18・10	演劇出版社
逃避行Ⅰ 西国へ／逃避行Ⅱ 吉野山	鑑賞	小野幸恵／著 《7》市川染五郎／監修		『染五郎と読む歌舞伎になった義経物語』		平成18年12月 岩崎書店
初役・再演・挑戦 〔平成18・11新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	櫻井洋司		演劇界	平成19・1	演劇出版社
切れ味鋭い勘三郎の変化球 〔平成18・11京都南座〕〔道行・川連館〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成19・2	演劇出版社
充実の勘三郎襲名 〔平成18・11京都南座〕〔道行・川連館〕	劇評	上田由香利		上方芸能	一六三号	平成19年3月 『上方芸能』編集部
『近松以後の人形浄瑠璃』	研究	黒石陽子		『近松以後の人形浄瑠璃』		平成19年2月 岩田書院
『近松以後の人形浄瑠璃』	研究	黒石陽子		『近松以後の人形浄瑠璃』		平成19年2月 岩田書院
飛躍の時へ 〔平成19・1浅草公会堂〕〔すし屋・渡海屋・大物浦〕	劇評	櫻井洋司		演劇界	平成19・3	演劇出版社
千本桜の無常観 〔平成19・3歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成19・5	演劇出版社
菊五郎の春 〔平成19・3歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成19・5	演劇出版社
踊り踊りて 忠信、立ちのぼる幻〔吉野山〕	評論	長谷部浩		『菊五郎の色気』		平成19年6月 文藝春秋
死の美学を描く仁左衛門 〔平成19・7大阪大阪松竹座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	廓正子		演劇界	平成19・9	演劇出版社
歌舞伎の楽しさを味わう 〔平成19・10名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成19・12	演劇出版社
深まりを見せた再演 〔平成19・10地方公演〕〔吉野山〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成20・1	演劇出版社
錦之助襲名披露の顔見世 〔平成19・11京都南座〕〔すし屋〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成20・2	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
やはり「沼津」 〔平成20・1大阪大阪松竹座〕〔吉野山〕	劇評	廓正子		演劇界	平成20・3	演劇出版社
竹豊両座と人形浄瑠璃の黄金時代「三代名作」の時代	解説	今岡謙太郎		『日本古典芸能史』		平成20年4月 武蔵野美術大学出版局
冬の博多に熱気呼ぶ 〔平成20・2福岡博多座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成20・4	演劇出版社
薫風 團菊祭 〔平成20・5歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	水落潔		演劇界	平成20・7	演劇出版社
大顔合わせの「新薄雪物語」 〔平成20・6歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	水落潔		演劇界	平成20・8	演劇出版社
誠実な舞台 〔平成20・7国立劇場〕〔川連館〕	劇評	櫻井洋司		演劇界	平成20・9	演劇出版社
妖かしの世界 〔平成20・7歌舞伎座〕〔鳥居前・吉野山・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成20・9	演劇出版社
義経千本桜	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 上』		平成20年12月 日本芸術文化振興会 ※歌舞伎資料選書・11
狂気と理性 〔平成20・11新橋演舞場〕〔吉野山〕	劇評	長谷川浩		演劇界	平成21・1	演劇出版社
異彩と異能 〔平成21・1新橋演舞場〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成21・3	演劇出版社
仁左衛門が咲かず悪の華 〔平成21・1大阪大阪松竹座〕〔鳥居前〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成21・3	演劇出版社
当た役の競演 〔平成21・10歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・吉野山・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成21・12	演劇出版社
義経千本桜	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 中』		平成22年3月 日本芸術文化振興会 ※歌舞伎資料選書・11
「助六」から「助六」へ 〔平成22・5新橋演舞場〕〔吉野山〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成22・7	演劇出版社
三年後の地図 〔平成22・8新橋演舞場〕〔鳥居前・道行・川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成22・10	演劇出版社
海老蔵が通して主要三役 〔平成22・9京都南座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成22・11	演劇出版社
柿葺落は二十一世紀歌舞伎組 〔平成22・9大阪大阪新歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	廓正子		演劇界	平成22・11	演劇出版社
義経千本桜	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 下の一』		平成23年1月 日本芸術文化振興会 ※歌舞伎資料選書・11

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
役者が揃い充実の「すし屋」 〔平成23・2名古屋御園座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成23・4	演劇出版社
団七を盛り立てる結束力 〔平成23・3福岡博多座〕〔吉野山〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成23・5	演劇出版社
十六年ぶりの明治座歌舞伎 〔平成23・5明治座〕〔川連館〕	劇評	児玉竜一		演劇界	平成23・7	演劇出版社
新たな挑戦 〔平成23・6国立劇場〕〔川連館〕	劇評	中村桂子		演劇界	平成23・8	演劇出版社
『人形浄瑠璃のドラマツルギー—近松以降の浄瑠璃作者と平家物語—』	研究	伊藤りさ		『人形浄瑠璃のドラマツルギー—近松以降の浄瑠璃作者と平家物語—』		平成23年9月 早稲田大学出版部
「仁」を継いだ松緑の知盛 〔平成23・7国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	大島幸久		演劇界	平成23・9	演劇出版社
海老蔵帰館 〔平成23・7新橋演舞場〕〔鳥居前〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成23・9	演劇出版社
梅幸、松緑追善の顔見世 〔平成23・11新橋演舞場〕〔道行〕	劇評	水落潔		演劇界	平成24・1	演劇出版社
新作と古典 〔平成24・2大阪大阪松竹座〕〔すし屋〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成24・4	演劇出版社
花形の成長 〔平成24・2名古屋御園座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成24・4	演劇出版社
又五郎の確かさ 〔平成24・4香川金丸座〕〔川連館〕	劇評	田中聡		演劇界	平成24・6	演劇出版社
『義経千本桜』と歴史を我等に	鑑賞	橋本治		『浄瑠璃を読もう』		平成24年7月 新潮社
座談会 六月襲名披露興行を語る 〔平成24・6新橋演舞場〕〔川連館〕	劇評	奈河彰輔 水落潔 山川静夫		演劇界	平成24・8	演劇出版社
身体のありかた 〔平成24・6～7地方公演〕〔鳥居前・道行・川連館〕	劇評	長谷部浩		演劇界	平成24・9	演劇出版社
光る佐吉と知盛 〔平成24・7大阪大阪松竹座〕〔渡海屋・大物浦・道行〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成24・9	演劇出版社
洗い上げた「四の切」 〔平成24・10名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成24・12	演劇出版社
家、家にあらず。 〔平成25・1大阪大阪松竹座〕〔川連館〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成25・3	演劇出版社
染五郎の復帰公演 〔平成25・2日生劇場〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成25・4	演劇出版社
柔と剛を演じ分けた勘九郎 〔平成25・2福岡博多座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成25・4	演劇出版社
掉尾を飾る充実の舞台 〔平成25・3名古屋御園座〕〔川連館〕	劇評	安住恭子		演劇界	平成25・5	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
洗練と土着性の融合 〔平成25・4香川金丸座〕〔川連館〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成25・6	演劇出版社
襲名披露一年の成果 〔平成25・6福岡博多座〕〔川連館〕	劇評	坂東垂矢子		演劇界	平成25・8	演劇出版社
『上方文化講座 義経千本桜』	鑑賞	大阪市立大学文学研究科「上方文化講座」企画委員会／編		『上方文化講座 義経千本桜』		平成25年8月 和泉書院
「千本桜」の三役 〔平成25・10歌舞伎座〕〔鳥居前・渡海屋・大物浦・道行・木の実・竹藪・すし屋・川連館〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成25・12	演劇出版社
襲名披露沸く 〔平成25・12京都南座〕〔川連館〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成26・2	演劇出版社
染五郎の奮闘公演 〔平成26・5明治座〕〔鳥居前〕	劇評	水落潔		演劇界	平成26・7	演劇出版社
十七世、十八世勘三郎追善 〔平成26・10歌舞伎座〕〔道行〕	劇評	水落潔		演劇界	平成26・12	演劇出版社
染五郎初役の弁慶 〔平成27・11歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成27・3	演劇出版社
ガンジロはん好調 〔平成27・2大阪大阪松竹座〕〔川連館〕	劇評	西村彰朗		演劇界	平成27・4	演劇出版社
〔平成27・4京都南座〕〔道行〕	劇評			演劇界	平成27・6	演劇出版社
劇場空間の魅力がいきる 〔平成27・4香川金丸座〕〔道行〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成27・6	演劇出版社
「船弁慶」と「千本桜」	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第八八回歌舞伎鑑賞教室解説書	平成27・7	日本芸術文化振興会
菊之助の挑戦 〔平成27・7国立劇場〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成27・9	演劇出版社
「鷹治郎襲名」に沸く 〔平成27・12京都南座〕〔吉野山〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成28・2	演劇出版社
昼夜八本、多彩な正月興行 〔平成28・1歌舞伎座〕〔鳥居前〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成28・3	演劇出版社
「若さ」ゆえの愉しみ 〔平成28・1浅草公会堂〕〔川連館〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・3	演劇出版社
二代競演の「千本桜」 〔平成28・6歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦・木の実・竹藪・すし屋・道行・川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	平成28・8	演劇出版社
巳之助初役の又平 〔平成29・1浅草公会堂〕〔吉野山〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成29・3	演劇出版社
花形七人競演 〔平成29・2大阪大阪松竹座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成29・4	演劇出版社
知盛と助六 〔平成29・3歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	児玉竜一		演劇界	平成29・5	演劇出版社
円熟の宗五郎 〔平成29・5歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成29・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
獅童初役の「すし屋」 〔平成29・11地方公演〕〔すし屋〕	劇評	田中綾乃		演劇界	平成30・2	演劇出版社
芝翫、時代と世話 〔平成29・12京都ロームシアター〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成30・2	演劇出版社
松也出色の綱豊卿 〔平成30・1浅草公会堂〕〔鳥居前〕	劇評	児玉竜一		演劇界	平成30・3	演劇出版社
いきいきとした舞台 〔平成30・2福岡博多座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	坂東亜矢子		演劇界	平成30・4	演劇出版社
温かな襲名披露公演 〔平成30・4香川金丸座〕〔鳥居前〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成30・6	演劇出版社
十八代目勘三郎の遺産 〔平成30・10歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	平成30・12	演劇出版社
親しみやすい狂言立て 〔平成30・10名古屋御園座〕〔鳥居前〕	劇評	亀岡典子		演劇界	平成30・12	演劇出版社
仁左衛門の「すし屋」 〔平成30・12京都南座〕〔木の実・竹藪・すし屋〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成31・2	演劇出版社
「俊寛」から「鏡獅子」へ 〔平成31・1新橋演舞場〕〔鳥居前〕	劇評	犬丸治		演劇界	平成31・3	演劇出版社
追善狂言三作 〔平成31・2歌舞伎座〕〔すし屋〕	劇評	小玉祥子		演劇界	平成31・4	演劇出版社
温かさに包まれた記念公演 〔平成31・4香川金丸座〕〔すし屋〕	劇評	亀岡典子		演劇界	令和1・6	演劇出版社
圧巻の知盛 〔令和1・7大阪大阪松竹座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	宮辻政夫		演劇界	令和1・9	演劇出版社
上方狂言が並んだ初芝居 〔令和2・1大阪大阪松竹座〕〔川連館〕	劇評	亀岡典子		演劇界	令和2・3	演劇出版社
資料展示室 『義経千本桜』と浮世絵	鑑賞	渡邊晃／構成・解説		国立劇場第三一八回歌舞伎公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
幕間のひととき55 木花之佐久夜毘売と石長比売	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第三一八回歌舞伎公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
歌舞伎カレイドスコープ第5回 毛縫に隠された狐忠信の魅力	鑑賞	ビュールク・トーヴェ		国立劇場第三一八回歌舞伎公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
ドラマを見るか？役者で見せるか？	鑑賞	加納幸和		国立劇場第三一八回歌舞伎公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
「義経千本桜」の三役	鑑賞	水落潔		国立劇場第三一八回歌舞伎公演解説書	令和2・3	日本芸術文化振興会
四部それぞれに花形の魅力 〔令和2・8歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	水落潔		演劇界	令和2・10	演劇出版社
「身替座禪」の円熟 〔令和2・11歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	犬丸治		演劇界	令和3・1	演劇出版社
清々しい”純花形歌舞伎” 〔令和3・3京都南座〕〔吉野山・川連館〕	劇評	坂東亜矢子		演劇界	令和3・5	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
矩を守る心 〔令和3・7国立劇場〕〔川連館〕	劇評	上村以和於		演劇界	令和3・9	演劇出版社
三部それぞれの華やかさ 〔令和3・12歌舞伎座〕〔吉野山〕	劇評	小玉祥子		演劇界	令和4・2	演劇出版社
世代交代した初芝居 〔令和4・1歌舞伎座〕〔川連館〕	劇評	水落潔		演劇界	令和4・3	演劇出版社
仁左衛門一世一代の知盛 〔令和4・2歌舞伎座〕〔渡海屋・大物浦〕	劇評	小玉祥子		演劇界	令和4・4	演劇出版社
南座歌舞伎鑑賞教室 〔令和4・5京都南座〕〔吉野山〕	劇評	寺田詩麻		劇評	令和4・6	木挽堂書店
犬も歩けば歌舞伎にあたる 第2回〔すし屋〕	演出	竹柴潤一		劇評	令和4・6	木挽堂書店
菊五郎の権太 〔令和4・6福岡博多座〕〔すし屋〕	劇評	田中綾乃		劇評	令和4・7	木挽堂書店